令和8年度
定時社員総会

日時：令和8年5月30日(土)
会場：東京国際フォーラム　ホール棟4階「ホールC」

公益社団法人
日本超音波医学会

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-23-1
お茶の水センタービル6F
ＵＲＬ：https://www.jsum.or.jp
ＴＥＬ：03-6380-3711
ＦＡＸ：03-5297-3744
E-Mail：office@jsum.or.jp

公益社団法人日本超音波医学会
令和8年度定時社員総会次第

日時：令和８年５月30日(土)　12：00～13：00
会場：東京国際フォーラム　ホール棟４階「ホールＣ」

開会	理事長
理事長挨拶	理事長
議長選出	理事長
議題	
１.令和７年度事業報告(令和７年度事業報告及び附属明細書)について(承認事項)　(資料１)	総務担当理事
２.令和７年度収支決算報告(令和７年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録)について(承認事項)　(資料２)	財務担当理事
３.令和７年度監査報告について(承認事項)　(資料３)	監　事
４.令和８年度事業計画書について(報告事項)　(資料４)	総務担当理事
５.令和８年度収支予算書(令和８年度予算)、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について(報告事項)　(資料５)	財務担当理事
６.令和８・９年度役員選任ついて(承認事項)　(資料６)	理事長
７.会費滞納状況による資格喪失者の状況(報告事項)　(資料７)	理事長
８.「会員の種別，入退会，会費等の取扱い規則」の改正について(承認事項)　(資料８)	理事長
９.名誉・功労会員推薦について(承認事項)　(資料９)	理事長
10.その他	
議事録署名人の選出	議　長
閉会	議　長

令和6･7年度公益社団法人日本超音波医学会
役　員

（自 令和６年６月１日　　至 令和８年度通常社員総会締結時）

理事長(代表理事)	岩永史郎
副理事長(代表理事)	小川眞広　長谷川英之
理　事	赤坂和美　秋山いわき　荒川元孝　石津智子　市塚清健　尾本きよか　北野雅之　黒田英克 陣崎雅弘　瀬尾由広　大門雅夫　中田雅彦　西田　睦　新田尚隆　畠　二郎　濱口浩敏 古川まどか　丸山紀史　村田光繁　山口　匡　吉田　寛　渡邉　望
外部理事	鈴木雄介
監　事	菊池昭彦　日浅陽一
幹　事	板橋裕史　楠瀬賢也　工藤正俊　椎名　毅　永井立平　松本直樹　吉澤　晋

令和6～9年度公益社団法人日本超音波医学会代議員名簿
－敬称略－（232名）

（自 令和６年４月１日　　至 令和10年度３月31日）

（医師） 203名

相方　浩　會澤信弘　赤坂和美　明石定子　赤松加奈子　朝井　章　蘆田玲子　麻生和信
安部晴彦　阿部雅則　池澤賢治　池ノ上　学　石井桂介　石津智子　泉　知里　井田良幸
板橋裕史　市塚清健　糸井隆夫　伊藤吾子　伊藤隆英　伊藤高広　糸永昌弘　井上勝次
今城健人　岩瀧麻衣　岩橋徳明　植田裕介　浮村　理　宇宿弘輝　打田佐和子　宇都宮裕人
梅原永能　大枝　敏　大川和良　太田智行　大谷朋仁　大西俊成　大野栄三郎　小形幸代
小川　力　小川眞広　沖原宏治　奥田真一　奥野敏隆　小倉　健　尾本きよか　加地　剛
春日義史　金川武司　金子真大　鎌田佳宏　亀井桂太郎　亀田　徹　狩山和也　河岡友和
川崎靖子　川嶋啓揮　川部直人　神崎秀明　菊池昭彦　岸野智則　貴田浩志　北野雅之
清野宗一郎　楠瀬賢也　葛谷貞二　久保田一徳　黒沢幸嗣　黒田英克　黒松亮子　桑田知之
鯉渕晴美　合田亜希子　木暮宏史　小林奈津子　小松篤史　紺野　啓　西條良仁　西條芳文
斎藤こずえ　齋藤昌利　齊藤弥穂　佐伯一成　阪上順一　坂田泰史　櫻井健一　笹沼英紀
佐藤秀一　佐藤輝紀　塩見英之　塩見優紀　重田浩一朗　島　宏彰　志村浩己　陣崎雅弘
菅原政貴　杉原誉明　杉本勝俊　須田清一郎　諏訪惠信　瀬尾由広　祖父尼　淳　大門雅夫
髙木慎太郎　高口浩一　高野真澄　鷹野真由実　髙橋　周　高橋宏和　瀧聞浄宏　瀧田寛子
武井黄太　武井康悦　田尻和人　多田俊史　多田藤政　田中新一郎　田中利隆　玉井　努
玉井秀幸　田丸俊輔　土谷　薫　堤　義之　寺井崇二　土肥　薫　豊田秀徳　豊野学朋
内藤岳人　永井知雄　中岡和徳　中川勇人　中河原浩史　長崎澄人　中島祐子　中島淑江
中田雅彦　長沼裕子　中野聖士　永松　健　中村進一郎　那須初子　楢原哲史　西川かおり
西村重彦　西村貴士　野々垣浩二　野間栄次郎　伯野大彦　橋本千樹　畑中　健　濱口浩敏
林　香月　林　秀樹　原田　侑　日浅陽一　肱岡　範　日高　央　平岡　淳　平田久美子
平野　豊　廣岡昌史　蓬原一茂　本郷文弥　政田賢治　松居剛志　松岡　隆　松原　浩
松本直樹　的野智光　真野敏昭　丸上永晃　丸山紀史　皆川洋至　南　康範　宮下　進
村田光繁　望月泰秀　本吉康英　森本直樹　守屋昭男　安井　豊　矢田　豊　山下竜也
山下泰伸　山田　晶　山田　聡　山田博胤　山野哲弘　山野倫代　山本敏樹　山本祐華
山本　亮　湯淺敏典　吉田雄一　米田正人　和久井紀貴　和田誠司　和田靖明　渡辺隆紀
渡邉　望　渡邊博之　渡邊幸信

（理工学関係者） 23名

荒川元孝　池田貞一郎　今村智久　大栗拓真　岡田健吾　尾高北斗　神山直久　小玉哲也
佐々木　東　園山輝幸　田中智彦　谷川俊一郎　辻田剛啓　新田尚隆　橋本　浩　長谷川英之
平田慎之介　藤井信彦　桝田晃司　山口　匡　吉澤　晋　吉田憲司　脇　康治

（医師・理工学関係者以外） ６名

小川定信　乙部克彦　佐藤　洋　鈴木　亮　西田　睦　丹羽文彦

(資料１)

公益社団法人日本超音波医学会　令和７年度事業報告及び附属明細書

（自　令和７年４月１日　　至　令和８年３月31日）

令和７年度事業報告は、以下のとおりである。

Ⅰ 会員の現況

（令和８年３月31日現在）

会員種別	令和７年３月31日 現 在 数	令和８年３月31日 現 在 数	増　　減	備　　考
名誉会員	36	37	+　1	
功労会員	132	133	+　1	
シニア会員	1,335	1,376	+　41	
正 会 員	6,168	6,277	+　109	
準 会 員	9,496	9,813	+　317	
学生会員	12	18	+　6	
賛助会員	9(37口)	9(37口)	0(0口)	
計	17,188	17,663	+　475	

名誉会員　(*物故者)

*青柳健次　*加藤金正　*菊池喜充　*田中憲二　*吉田常雄　*吉岡勝哉　*永山徳郎　*金子仁郎
*実吉純一　*古賀　孝　*海老原敏明　*板原克哉　*岡　益尚　*奥山大太郎　*安藤　弘　*井出正男
*奥島基良　*中島　茂　*林　周一　*有賀槐三　*John J. Wild　*Floyd Dunn　*仁村泰治　*尾本良三
*伊藤健一　*吉川純一　*岡井　崇　*和賀井敏夫　*福田守道　*田中元直　*竹原靖明　*堤　裕
*北畠　顕　*大槻茂雄　(34名)
渡邉　泱　松尾裕英　平田經雄　飯沼一浩　竹内久彌　名取　博　中山　淑　伊東紘一
伊東正安　菅原基晃　棚橋善克　別府慎太郎　跡見　裕　遠藤信行　八木晋一　田中幸子
松﨑益徳　千田彰一　Byung Ihn Choi　森安史典　Yi-Hong Chou　竹中　克　Seung-Hyup Kim　工藤正俊
増山　理　Won Jae Lee　谷口信行　森　秀明　Yung-Liang Wan　中谷　敏　飯島尋子　金井　浩
椎名　毅　平井都始子　Christoph F Dietrich　Cristina Chammas　Ioan Sporea　(37名)

［公益目的事業　学術集会・講習会等事業］

Ⅱ　学術集会

第98回学術集会(会長　北野雅之)は、世界超音波医学生物学連合第20回学術集会WFUMB 2025(会長　秋山いわき)と合同で、令和７年５月30日から６月１日の３日間、国立京都国際会館、及びオンデマンド配信で開催した。参加人員9,216名(現地参加5,874名、オンデマンド参加3,342名)。発表内容は下記の通り。

第98回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会　16題(基礎 5,循環器 4,腹部 2,産婦人科 5) 一般演題　口演　497題(基礎 64,循環器115,消化器112,産婦人科119,乳腺 26,甲状腺頭頸部 12,運動器 4,Point of Care 10,その他 17) 合　計　513題
会長講演	「超音波診療の技術革新：消化器疾患における実用化への軌跡」
特別プログラム	領域横断 １)シンポジウム「プライマリ･ケアの現場で役立つ『主訴』から『診断』へと導く超音波活用術」 ２)シンポジウム「超音波検査におけるタスクシフト」 消化器 １)シンポジウム「肝腫瘍の鑑別診断と超音波ガイド治療のトピック」 ２)シンポジウム「超音波による膵癌早期診断」 ３)シンポジウム「腹痛を超音波で診る 2025」 ４)シンポジウム「肝脂肪化定量法の技術革新と臨床応用」 ５)シンポジウム「微細血流の評価法」 ６)シンポジウム「超音波内視鏡の診断と治療」 ７)シンポジウム「胆道系疾患の超音波診断 up to date」 ８)シンポジウム「消化器領域の疾患別トピックス」 循環器 １)シンポジウム「超音波を用いた左右心室のサイズと機能診断の極意」 ２)シンポジウム「今注目される弁膜症：マルチモダリティで三尖弁･肺動脈弁を観る」 ３)シンポジウム「マルチモダリティで切り拓く心筋症診療：心エコーの現在と未来」 ４)シンポジウム「AI とともに歩む心エコー検査の未来」 ５)シンポジウム「左房機能を臨床にどう活かすか」 ６)シンポジウム「心臓手術後の経食道心エコー法による評価」 ７)シンポジウム「器質的心疾患カテーテル治療の最前線」 腎･泌尿器 １)シンポジウム「Multiparametric TRUS -new technology-」 ２)シンポジウム「泌尿器科領域の手術における術中超音波ナビゲーション技術の進歩」 ３)シンポジウム「水腎症の総まとめ 診断・治療」 産婦人科 １)シンポジウム「AI の今」 ２)シンポジウム「胎児の恒常性について考える」

	3）シンポジウム「女性を「診る」」 4）ワークショップ「胎児心不全の定義を考える３ ～各病態での臨床応用を議論する～」 乳腺 1）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「State of the Art、 Breast Mass Lesion Vascularity：最新の乳腺腫瘍血流考察 2）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「乳癌取扱い規約第19版(発刊予定)と組織像推定乳房超音波診断(JABTS 研究部会案)(乳癌取扱い規約19版と組織像推定研究部会のコラボ企画)」 3）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「日本で使われているカテゴリー分類の整理・解説とBIRADS第６版(発刊予定)」(カテゴリーが混乱されて使用されている状況ですので、整理して理解してほしいと思います) 4）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「JABTS 乳がん検診委員会」・「JABTS 乳房超音波精密診断フローチャート研究部会」企画 「乳管内病変の要精検基準の変更」-JABTS 乳がん検診委員会案-「乳房超音波精密診断フローチャート」-乳房超音波精密検査診断フローチャート研究部会案- 乳腺・甲状腺・皮膚 1）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「Breast＆Thyroid：合同教育セッション」 2）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「体表臓器の超音波診断」 3）シンポジウム JSUM・JABTS 合同企画「びまん性甲状腺腫の超音波診断」 運動器 1）シンポジウム「驚異のスキル！非整形外科医が拓く新たな運動器エコーの世界」 2）シンポジウム「医療現場での新発見！エコーを用いた医原性疼痛の最前線」 3）シンポジウム「理学療法士によるエコー活用の現状と未来：日本超音波医学会の立場と役割」 4）シンポジウム「究極のテクニック披露！"私の小技"選手権 - 進化し続ける運動器エコー」 5）シンポジウム「超音波ガイド下治療における挑戦と理学療法の新たな可能性」 6）シンポジウム「神経ブロックの真髄に迫る！超音波ガイド下での精密施術」 小児科 1）シンポジウム「普段使いの超音波 何を診て何をすべきか」 2）シンポジウム「手術やカテーテルに繋げる心エコー:私のTips and Tricks 教えます！」 血管 1）シンポジウム「下肢閉塞性動脈疾患(LEAD)における超音波検査の役割」 2）シンポジウム「推理力を活かした血管エコー」 3）シンポジウム「血管エコー標準的評価法 up-to-date」 4）シンポジウム「脈管治療におけるエコーの役割」 5）パネルディスカッション「ここまで書こう！血管エコーレポート」 脳神経 1）シンポジウム「Neuro-POCUS を通して神経超音波の役割を再考する」 検査士 1）ワークショップ「最新の治療に応える超音波検査」 救急(POCUS･横断) 1）シンポジウム「救急領域でのadvanced POCUS」 基礎 1）シンポジウム「超音波治療のための要素技術開発」 2）シンポジウム「診断の定量標準化と高精度化」 3）シンポジウム「超音波診断における新技術動向」 4）シンポジウム「安全性指標TI/MI リアルタイム表示について考える～最新規格動向を踏まえて～」 総合･健診 1）ライブデモンストレーション「上腹部臓器の描出法のコツ」
その他	機器及び委員会主催 1）キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会企画「Early Career 部会 第2 回領域横断エコリンピック2025」 2）超音波検査士制度委員会主催企画「認定超音波検査士取得のための報告書等作成時のポイントと注意点」 新人賞口演 必修講習会 第24回教育セッション ランチョンセミナー ハンズオンセミナー／ライブデモンストレーション／ワークショップ ファイヤーサイドトーク 市民公開講座
機器展示 書籍展示	30社 ４社

Ⅲ　地方会学術集会

下記の地方会学術集会を開催した。

a. 北海道地方会学術集会

第55回　会長　佐々木　東

令和７年９月13日(土)　於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

参加者：320名　演題数：43題

b. 東北地方会学術集会

第70回　会長　佐藤和奏

令和７年９月７日(日)　於：にぎわい交流館AU(秋田県秋田市)

参加者：223名　演題数：40題

第71回　会長　吉澤　晋

令和８年３月１日(日)　於：仙台市中小企業活性化センター(宮城県仙台市)

参加者：288名　演題数：28題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第37回　会長　尾本きよか

令和７年９月27日(土)～28日(日)　於：大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

参加者：1,437名　演題数：152題

d. 中部地方会学術集会
第46回　会長　土肥　薫
令和７年８月24日(日)　於：ウインクあいち(愛知県名古屋市)
参加者：594名　演題数：66題
e. 関西地方会学術集会
第52回　会長　阿部幸雄
令和７年12月13日(土)　於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)
参加者：1,262名　演題数：113題
f. 中国地方会学術集会
第61回　会長　神野大輔
令和７年９月６日(土)　　於：広島県医師会館(広島県広島市)
参加者：314名　演題数：44題
g. 四国地方会学術集会
第35回　会長　尾原義和
令和７年10月18日(土)　於：高知医療センター内くろしおホール(高知県高知市)
参加者：350名　　演題数：27題
h. 九州地方会学術集会
第35回　会長　高橋宏和
令和７年10月５日(土)　於：佐賀市文化会館(佐賀県佐賀市)
参加者：706名 演題数：62題

[公益目的事業　学術集会・講習会等事業]
Ⅳ　教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会
a. 教育セッション
第24回教育セッション
令和７年５月30日(金)～31日(土)、及び令和７年６月20日(金)から８月31日(日)オンデマンド配信　於：国立京都国際会館(京都府京都市)　参加者：1,725名
b. 超音波診断講習会
超音波診断講習会(領域横断)
令和７年11月15日(土)　於：中日ホール＆カンファレンス(愛知県名古屋市)、及び令和７年11月25日(火)～12月25日(木)オンデマンド配信　参加者：257名(延べ人数)
超音波診断講習会(循環器)
令和７年11月29日(土)　於：アルピコプラザホテル(長野県松本市)、及び令和７年12月10日(水)～令和８年１月10日(土)オンデマンド配信　参加者：191名(延べ人数)
超音波診断講習会(消化器)
令和８年１月31日(土)　於：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)、及び令和８年２月10日(火)～３月10(火)オンデマンド配信　参加者：374名(延べ人数)
超音波診断講習会(乳腺)
令和８年２月15日(日)　於：コングレスクエアグラングリーン大阪(大阪府大阪市)、及び令和８年２月25日(水)～３月25日(水)オンデマンド配信　参加者：344名(延べ人数)
c. 小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)
開催していない。
d. 必修講習会
第98回学術集会 令和７年６月１日(日)　於：国立京都国際会館(京都府京都市)　受講者：1,720名

[公益目的事業　学会誌等出版事業]
Ⅴ　学会誌の発行
和文誌「超音波医学」(７冊)：第52 Supplement号、３～６号、及び第53巻１・２号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(４冊)：第52巻２～４号、及び第53巻１号の計11冊を発行した。

	和文誌							英文誌				論文数(計)
巻号	52-Suppl	52-3	52-4	52-5	52-6	53-1	53-2	52-2	52-3	52-4	53-1	
本文ページ数	746	27	39	33	47	53	37	94	91	90	125	
マニュアル (Manual)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
総説 (Review article)	—	0 (0)	30 (3)	0 (0)	23 (2)	33 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	21 (2)	0 (0)	14
特集 (Special Feature)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0
原著 (Original Article)	—	18 (2)	0 (0)	15 (2)	9 (1)	0 (0)	33 (3)	66 (8)	37 (4)	45 (5)	104 (12)	36
症例報告 (Case Report)	—	4 (1)	0 (0)	11 (2)	10 (1)	9 (1)	0 (0)	—	—	—	—	15
技術報告 (Technical note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—	0
今月の超音波像 (Image)	—	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (4)	15 (6)	13 (6)	12 (5)	22
Letters to the Editor	—	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1
Editorial	—	2	2	1	2	2	2	4	2	3	2	

編集後記	―	1	1	1	1	1	1	-	―	―	―	
学術集会プログラム	128	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
学術集会抄録	560	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
その他	58	0	3	5	2	8	1	6	26	8	7	

( )内は掲載論文等の数
和文誌の総説、特集、原著論文中、９論文は翻訳論文である。

Ⅵ　各種委員会等
[公益目的事業　学術集会・講習会等事業]
１　学術集会委員会
a.学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言を行った。

[公益目的事業　学術集会・講習会等事業]
２　地方会委員会
a.地方会に関する事業の発展,充実及び円滑な運営の促進
１)各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
２)地方会交付金の算定を行い、交付した。
３)地方会学術集会に関して助言を行った。
４)地方会講習会に関して助言を行った。
５)学術集会委員会と共同して正会員増加に関する検討を行った。
b.地方会委員会会議及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
c.地方会を通じて正会員数の増加を推進した。
d.各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行った。

[公益事業　学術集会・講習会等事業]
３　教育委員会
a.第98回学術集会会期中に国立京都国際会館を会場として、第24回教育セッションを開催した。開催終了後にオンデマンド配信も行った。(Ⅳ項参照)
b.第99回学術集会会期中に開催予定の「第25回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行った。
c.令和７年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・乳腺・領域横断)４領域の開催を行った。(Ⅳ項参照)
d.令和８年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行った。
e.令和７年度中の小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)は、状況を見極めて計画を立てる検討を行った結果、令和８年度に開催することを決定した。
f.第98回学術集会会期中に国立京都国際会館を会場として、「必修講習会」の開催を行った。
g.機器及び標準化に関する委員会、及び安全委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定を行った。

[公益目的事業　調査研究事業]
４　用語・診断基準委員会
a.医用超音波用語関係
１)医用超音波用語集改訂について検討を行った。
２)他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行った。
b.診断基準関係
１)「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
２)「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
３)「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
４)「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
５)「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
６)「超音波による頸動脈の標準的評価法(追補版)」を公示した。(2024年11月８日公示・2025年５月28日公開)
７)「超音波によるバスキュラーアクセスの標準的法2024」を公示した。(2025年４月25日公示・2025年９月17日公開)
８)「胎児超音波計測の新たな参照値の公表(JSUM2025)」を公示に向けて検討を行った。
９)「超音波による血管の標準的検査法：総論」を公示した。(2025年３月14日公示・2025年10月10日公開)
10)「肝腫瘤・超音波診断基準 第３版」を公示した。(2025年８月８日公示・2025年10月14日公開)
11)「超音波による腎血管病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
12)「成人心臓弁膜症の心エコー図診断」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
13)「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
14)「エラストグラフィ(肝臓)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
15)「脂肪肝(超音波減衰法)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
16)「胎児心不全の定義」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
17)「門脈圧亢進症における超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行った。
18)「超音波検査の「パニック所見：緊急に対応すべき異常所見」：各論について訂正記事の検討を行った。

[公益目的事業　調査研究事業]
５　機器及び標準化に関する委員会
a.「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行った。
b.超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員１名の派遣を行った。
c.安全委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定を行った。
d.穿刺時の超音波プローブの消毒について、「消化器領域」の検討を行った。
e.新しい機器に関する啓発活動を行った。
f.会員からの機器に関する問い合わせに対応を行った。

[公益目的事業　調査研究事業]
６　安全委員会

a.「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行った。
b.「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射カインパルスの生体への影響について検討を行った。
c.機器及び標準化に関する委員会及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツの策定を行った。

[公益目的事業　調査研究事業]
7　超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会
a.データベースの構築に関して
1)臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、次世代に向けたデータベースの構築・維持を行った。
2)各施設に展開した超音波画像データ収集基盤に関して、施設サーバの老朽化に伴いセキュリティの脆弱化が問題となる施設に関して、保守期間延長等の対策を講じた。
3)各施設に展開した超音波画像データ収集基盤に関して、保守と管理を行い、また病院移転のあった施設では接続用インテーネット回線を設置した。
b.AIの開発に関して
1)データベースを学習用データ、テスト用データとして用い、超音波診断を支援する人工知能の開発研究に取り組んだ。
2)開発した肝腫瘤診断支援AIの検証的臨床試験(性能評価試験)実施のため、外部コホートのテスト用データの収集を行い、テスト用データベースの構築を完成させた。また検証的臨床試験実施を目的として開発した試験システムの保守・維持を行なった。
3)構築した試験システムを用い、開発した肝腫瘤診断支援AIの検証的臨床試験(性能評価試験)を実施した。
4)開発した乳腺腫瘍分類AIの性能評価試験を実施・報告した。

[公益目的事業　研究開発促進事業]
8　研究開発促進委員会
a.令和７年度研究会設置申請３件の審査を行い、以下の３件(新規２件・継続１件)の研究会の設置を認可した。
1)超音波分子診断治療研究会(新規)
2)頸部リンパ節超音波研究会(新規)
3)基礎技術研究会(継続)
b.令和８年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(本会ウェブサイト　令和７年11月)
c.学会内での物品貸出業務の開始に伴い、申請方法を制定した。

[公益目的事業　国際交流事業]
9　国際交流委員会
a.公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、次の活動を行った。
1) JSUM Fellowship2025の研修を実施した。
2)2026度JSUM Fellowship研修生を公募したが、応募者がいなかったため、2026年度JSUM Fellowship研修生は０名とした。
3)今後の国際貢献の在り方について検討した。
b.アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
1)令和８年３月12日～14日にベトナム・ダナンで開催される第17回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
2)令和７年５月29日～６月１日に日本・京都市において北野雅之大会長と共に開催される第20回WFUMB大会の準備に学術、広報などの面で協力した。
4)英文誌(Journal of Medical Ultrasonics)並びにAFSUMB、及び本会のウェブサイトにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
5)AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力した。
6)本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討した。
c.超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、オーストラリアのProf. George Condousを理事会に推薦した。

[公益目的事業　表彰事業]
10　顕彰委員会
a.第27回特別学会賞の選考を行い、以下の２名に授与した。
飯島尋子　(兵庫医科大学消化器内科)
椎名　毅　(芝浦工業大学SIT 総合研究所大学院理工学研究科)
b.第４回工藤賞の選考を行い、以下の１名に授与した。
黒田英克　(岩手医科大学附属病院内科学講座消化器内科分野)
c.第25回技術賞の選考を行い、以下３グループ３名に授与した。
胎児心臓超音波スクリーニング支援AIシステム
(グループ代表者：　小松正明　(理化学研究所・国立がん研究センター・昭和大学・富士通Japan株式会社)
3rd Harmonic Imaging
(グループ代表者：　岩崎亮祐　(キヤノンメディカルシステムズ株式会社)
33MHz高周波リニアプローブ
(グループ代表者：　岡田健吾　(キヤノンメディカルシステムズ株式会社 超音波開発部)
d.第39回菊池賞(論文賞)の選考を行い、以下の２編に授与した。
Artifact reduction in photoacoustic images by generating virtual dense array sensor from hemispheric sparse array sensor using deep learning　(J Med Ultrasonics Vol.51,No.2)
Makoto Yamakawa, Tsuyoshi Shiina(SIT Research Laboratories, Shibaura Institute of Technology)
Optimal treatment conditions for low-intensity pulsed ultrasound therapy for Alzheimer's disease: applications from mice to humans　(J Med Ultrasonics Vol.51,No.3)
Tomohiko Shindo[1], Kumiko Eguchi[1], Yuto Monma[1], Hiroshi Kanai[2], Satoshi Yasuda[1], Hiroaki Shimokawa[1, 3]
([1]Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, [2] Division of Biomedical Measurements and Diagnostics, Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University, [3]Graduate School, International University of Health and Welfare)

e.第20回伊東賞(論文賞)の選考を行い、以下の２編に授与した。
Assessment of renal congestion in a rat model with congestive heart failure using superb microvascular imaging (J Med Ultrasonics Vol.51,No.2)
Tomofumi Nakatsukasa[1], Tomoko Ishizu[1], Ruriko Hayakawa[2], Masumi Ouchi[2], Naoto Kawamatsu[1], Kimi Sato[1], Masayoshi Yamamoto[1], Tomoko Machino?Ohtsuka[1], Kunio Kawanishi[3], Yoshihiro Seo[4]
([1]Department of Cardiology, Institute of Medicine, University of TsuKuba, [2]Department of Medical Science, Institute of Medicine, University of Tsukuba, [3]Department of Experimental Pathology, Institute of Medicine, University of Tsukuba, [4]Department of Cardiology, Faculty of Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

Deep learning approach for discrimination of liver lesions using nine time-phase images of contrast-enhanced ultrasound (J Med Ultrasonics Vo51,No.1)
Naohisa Kamiyama[1], Katsutoshi Sugimoto[2], Ryuichi Nakahara[3], Tatsuya Kakegawa[2], Takao Itoi[2]
([1]Ultrasound General Imaging, GE HealthCare Japan,[2]Department of Gastroenterology and Hepatology, [3]Department of Orthopedic Surgery, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University Graduate School of Medicine)

f.第26回奨励賞の選考を行い、以下の５名に授与した。
[基　礎]「光音響イメージングによる炎症性血管の径と酸素飽和度の変化の評価」
鈴木　陸（東北大学 医工学研究科)」
[基　礎]「超音波定量評価に基づいた乳がんスフェロイドの経時的変化の定量評価」
伊藤一陽（東京農工大学工学研究院）
[循環器]「急性心不全患者におけるSMI法を用いた退院時の腎微小循環評価の有用性」
香山京美（名古屋市立大学 循環器内科学）
[消化器]「慢性肝疾患の肝脂肪化診断におけるAI-HRI Composite Scoreの有用性：多施設前向き研究」
稲荷森叶芽(岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）
[産婦人科]「マルチアングル胎児エコー技術の開発」
小笠原　淳(Gifts Inc. 産婦人科）

g.第14回新人賞(地方会)の選考を行い、以下の８名に授与した。
[北海道地方会]
第54回北海道地方会学術集会発表【循環器】
カルフィルゾミブ誘発性肺高血圧症を発症した多発性骨髄腫の１例
宇留野滉介　(手稲渓仁会病院循環器内科）
[東北地方会]
第68回東北地方会学術集会発表【基礎】
超音波RF 信号を用いたクラッタフィルタ再構成による転移リンパ節の血管抽出
前田一伎　(東北大学医工学研究科）
[関東甲信越地方会]
第36回関東甲信越地方会学術集会発表【基礎】
微小気泡と音響放射力による血管内皮細胞の流路内壁への捕捉培養条件の検討
野口彩子　(東京農工大学大学院生物システム応用科学府）
[中部地方会]
第45回中部地方会学術集会発表【消化器】
ソナゾイド造影超音波内視鏡検査で特徴的な画像所見を呈した膵 epidermoid cyst の１例
髙木大貴　(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院消化器内科）
[関西地方会]
第51回関西地方会学術集会発表【基礎】
超音波照射による線虫の酸化ストレス耐性獲得メカニズムに関する研究
丹羽良介　(同志社大学大学院生命医科学研究科）
[中国地方会]
第58回中国地方会学術集会発表【消化器】
B-mode及び造影超音波にて確認困難であった血管内大細胞型B細胞リンパ腫(IVLBCL)の一例
渋谷千晶　(岡山市立市民病院消化器内科）
[四国地方会]
第34回四国地方会学術集会発表【循環器】
外耳道癌の心筋転移の一連の経過を心エコー図検査にて追えた一例
高村洸輝　(高知大学老年病・循環器内科学）
[九州地方会]
第34回九州地方会学術集会発表【消化器】
超音波検査が診断・経過観察に有用だった急性巣状細菌性腎炎(Acute Focal Bacterial Nephritis; AFBN)の２例
島　拓哉　(霧島市立医師会医療センター）

[公益目的事業　学会誌等出版事業]
11　編集委員会
a.和文誌「超音波医学」(７冊)：第52巻Supplement号、３～６号、及び第53巻１・２号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(４冊)：第52巻２～４号、及び第53巻１号の計11冊を発行した。(Supplement号については電子版のみ発行した。)(Ⅱ項参照)
b.総説、及び特集などの執筆を依頼し、総説４編を掲載した。
c.Impact Factor値の上昇の方策について検討を行った。
d.メールマガジンとして会告号、機関誌号、イベント号の配信を行った。
e.論文賞候補として、菊池賞２編及び伊東賞２編を選考し決定した。

[公益目的事業　学会誌等出版事業]
12　広報委員会
a.本会の学会情報を学会誌、及びインターネット等により広報を行った。
b.本会ウェブサイト全般についての管理を行い、利便性の向上を図った。
c.コンテンツを作成、Web公開を行い超音波医学に関する促進を目的とした広報活動を行った。
d.本会の活動内容や入会促進を目的として、広報用パンフレットを作成及び配布を行った。

[収益事業　資格認定事業]
13　超音波専門医制度委員会
a.令和７年度に指定した新規22施設(研修施設20施設、基幹施設１施設、連携施設１施設)、更新73施設(研修施設54施設、基幹施設17施設、連携施設２施設)、指定変更３施設(研修施設２施設、連携施設１施設)に、令和７年４月１日付で指定証を交付した。
b.令和８年度研修施設及び研修施設群の指定に向けて審査を実施し、新規23施設(研修施設15施設、基幹施設４施設、連携施設４施設)、更新98施設(研修施設65施設、基幹施設31施設、連携施設２施設)、指定変更２施設(基幹施設２施設)を指定した。
c.第35回超音波専門医認定試験を実施し、合格者122名の認定・登録を行った。
d.第36回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。
e.第31回超音波専門医資格更新審査を実施し、更新者366名、猶予者４名の認定・登録を行った。
f.令和７年度超音波指導医認定審査を実施し、再認定254名、新規78名の認定・登録を行った。
g.超音波専門医制度に関わるウェブサイトページの充実化を図った。

h. 超音波専門医制度に関する会員への啓発を積極的に行った。
i. 小児科領域の設立を目指し、小児科領域の研修カリキュラムを作成するためのワーキンググループを立ち上げ、活動した。
j. 基本領域サブスペシャルティ連絡協議会が認定するサブスペシャルティ専門医の取得を目指し、活動した。

[収益事業　資格認定事業]
14　超音波検査士制度委員会
a. 第40回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,262名の認定・登録を行った。
b. 第35回超音波検査士資格更新を実施し、更新者19名、猶予９名の認定・登録、及び第36回超音波検査士資格更新を実施し、更新者2,380名、猶予74名の認定・登録を行った。
c. 第13回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施し、合格者５名の認定・登録を行った。
d. 第９回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施し、更新者２名の認定・登録を行った。
e. 超音波検査士の育成を図った。
f. 「超音波指導検査士(腹部領域、血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」をオンライン配信にて行った。
g. 日本超音波医学会第98回学術集会において、超音波検査士制度委員会主催企画「認定超音波検査士取得のための報告書等作成時のポイントと注意点」を行った。

[収益事業　資格認定事業]
15　超音波工学フェロー認定審査委員会
a. 第27回超音波工学フェローの公募を実施し、申請者６名に対して認定審査を行い、適格と判定した６名を、令和７年10月１日付で認定・登録を行い、本会ウェブサイトに公示した。
b. 第22回超音波工学フェロー資格更新を実施し、認定審査を行い、適格と判定した更新者48名の認定・登録を行い、本会ウェブサイトに公示した。
c. 超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行うとともに、対象者となる可能性のある会員への周知を行った。
d. 超音波工学フェロー有資格者の認知度向上を目指し構築した「工学フェロー検索システム」の広報を行い、浸透を図った。有資格者114名中、本システムへの登録者数は43名となった(令和８年３月末時点)。

[会員相互補助事業]
16　在り方検討委員会
a. 本年度については新たな活動は行わなかった。

[会員相互補助事業]
17　災害対策委員会
a. 令和６年１月１日に発生した能登半島地震医療支援活動として、引き続き穴水総合病院、及び金沢大学附属病院からの要請に基づき、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、富士フイルムヘルスケア株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社のご協力の元、携帯型超音波診断装置を貸与し医療支援活動に活用いただいた。
b. 災害時の対応マニュアル(第三版)、災害時の医療支援活動窓口担当者マニュアルの策定に向けて検討を行った。
c. 各都道府県の医療支援活動窓口担当者の管理把握を行った。

[会員相互補助事業]
18　キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会
a. 委員会内の「Early Career部会」の中からリーダー・サブリーダーを決定し、キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会の構成員に追加を行った。
b. Early Career部会よる第98回学術集会会期中のキャリア支援・ダイバーシティのシンポジウムを企画・開催を行った。
c. 演題募集ポスター・動画および開催後の受賞者の声をホームページ上に掲載した。
d. アンダー40、及び女性会員の年次学術集会及び各地方会での座長割合を増加させる活動を行った。

[法人事業／法人管理関係]
19　保険委員会
a. 次回療報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行った。
b. 引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行った。
c. 例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行った。

[法人事業／法人管理関係]
20　倫理委員会
a. 倫理に関する事項について検討を行った。

[法人事業／法人管理関係]
21　利益相反委員会
a. 学会員の利益相反に関するマネージメントを行った。
b. 第８回日本医学会分科会利益相反会議に、日本超音波医学会利益相反委員会委員長として出席した。

[法人事業／法人管理関係]
22　会員資格審査関係
a. 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行った。
１)入会希望者及び退会希望者の審査
２)会員資格喪失該当者の審査
３)会員種別変更希望者の審査
４)休会希望者の審査
５)災害被害者の会費免除希望者の審査
６)会員数の動向調査
７)入会条件の検討

[法人事業／法人管理関係]
23　規約関係
理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の改正、及び廃止について逐次審議し、作案した。
a. 制定
１)公益社団法人日本超音波医学会　職場におけるハラスメントの防止に関する規則(令和７年４月25日制定)
２)公益社団法人日本超音波医学会　職員育児・介護休業等規則(令和８年１月23日制定)
３)公益社団法人日本超音波医学会　公益充実資金取扱規程(令和７年11月28日制定)

４)公益社団法人日本超音波医学会　High Citation Award選考内規(令和８年１月23日制定)

b.改正

１)公益社団法人日本超音波医学会　役員代議員選任規則(令和７年５月９日改正)
２)公益社団法人日本超音波医学会　役員代議員選任規則実施細則(令和７年５月９日改正)
３)公益社団法人日本超音波医学会　職員就業規則(令和７年４月25日改正)
４)公益社団法人日本超音波医学会　懲戒内規(令和７年４月25日改正)
５)公益社団法人日本超音波医学会　職員給与規則(令和７年４月25日改正)
６)公益社団法人日本超音波医学会　職員退職手当規則(令和７年４月25日改正)
７)公益社団法人日本超音波医学会　認定超音波指導医の推薦・委嘱に関する内規(令和８年３月27日改正)
８)公益社団法人日本超音波医学会　認定超音波専門医資格更新実施内規(令和８年３月27日改正)
９)公益社団法人日本超音波医学会　奨励賞選考内規(令和７年11月28日改正)
10)公益社団法人日本超音波医学会　特別学会賞選考内規(令和７年11月28日改正)
11)公益社団法人日本超音波医学会　技術賞選考内規(令和７年11月28日改正)
12)公益社団法人日本超音波医学会　役員の報酬・退職金に関する規程(令和７年５月31日改正)
13)公益社団法人日本超音波医学会　工藤賞選考内規(令和７年11月28日改正)
14)公益社団法人日本超音波医学会　特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程(令和７年11月28日改正)

c.廃止

１)公益社団法人日本超音波医学会　職員育児休業等規則(令和７年４月25日廃止)
２)公益社団法人日本超音波医学会　職員介護休業等規則(令和７年４月25日廃止)

［法人事業／法人管理関係］

24　個人情報保護関係

本会が保有する個人情報提を適切に管理した。

［会員相互補助事業］

Ⅶ　日本医学会関係

１　第32回日本医学会総会に登録推進委員を推薦した。
２　日本医学会定時総会に出席した。
３　日本医学会定例評議員会に出席した。
４　加盟学会連絡協議会に出席した。

Ⅷ　運営体制の充実を図るための取り組み

１　法令遵守の体制、情報公開の透明性を担保するため、本会ウエブサイトに事業業報告、財務諸表、定款等を公開している。

２　法令遵守の取り組みとして、医師、及び弁護士資格を持ち学会運営に精通している外部理事を選任している。
なお、来年度からは関連学会から推薦いただいた方を外部幹事として登用する予定である。

３　役員の報酬・退職金に関する規程を総会で改定し、外部理事、及び外部監事は、その在任中職務執行の対価として報酬を理事会等会議出席１回につき、30,000円(但し、オンライン参加の場合は１回につき、20,000円)迄を上限とし支給している。
なお、外部理事、及び外部監事以外の役員は、在任中報酬を受けず、退任時において退職金も支給していない。

４　理事会･総会は以下の通り実施された。

令和７年度社員総会(令和７年５月31日開催)
主な決議事項等
・令和６年度事業報告の承認
・令和６年度収支決算報告及び令和６年度収支決算監査報告の承認
・定款変更
・役員の報酬・退職金に関する規程改正の承認
・令和７年度外部理事選任の承認
・会費滞納状況による資格喪失者の状況の承認
・名誉・功労会員の承認

令和７年度第１回理事会(令和７年４月25日開催)
主な決議事項等
・定款変更の承認
・外部役員への報酬の審議
・令和６年度事業報告及び収支決算報告の承認
・令和７年度定時社員総会招集の承認
・幹事追加の承認
・規約改正の承認
・会員資格審査の承認
・諸報告(各種委員会等の審議・報告等)

令和７年度第２回理事会(令和７年５月９日開催)
主な決議事項等
・役員代議員選任規則改正等の承認
・令和７年度外部理事候補者の承認
・令和７年度定時社員総会招集の承認
・会員資格審査の承認

令和７年度第３回理事会(令和７年８月８日開催)
主な決議事項等
・第101回学術集会会長選出
・次世代医療基盤法改訂に伴う変更契約書締結の承認
・会員資格審査の承認
・諸報告(各種委員会等の審議・報告等)

令和７年度第４回理事会(令和７年11月24日開催)
主な決議事項等
・超音波専門医資格更新者認定の承認
・超音波指導医再認定の承認
・超音波専門医認定試験実施の承認
・超音波工学フェロー資格更新者認定の承認

令和７年度第５回理事会(令和７年11月28日開催)
主な決議事項等
・令和８･９年度理事候補者の選定、並びに理事欠員の補充の審議

・選挙管理委員会設置の承認
・規約の制定及び改正の承認
・会員資格審査の承認
・諸報告（各種委員会等の審議・報告等）

令和７年度第６回理事会（令和８年１月28日開催）
主な決議事項等
・令和８・９年度外部監事候補有資格者の確認
・令和８・９年度理事候補の選定、
・次世代医療基盤法改訂に伴う変更契約書締結の審議
・役員賠償保険・サイバー保険の継続の承認
・規約の制定及び改正の承認
・会員資格審査の承認
・諸報告（各種委員会等の審議・報告等）

令和７年度第７回理事会（令和８年３月27日開催）
主な決議事項等
・令和８・９年度外部監事候補者の選定
・令和８・９年度理事補充候補者の選定
・人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像のデータベース構築の事業継続の審議
・令和６・７年度幹事追加の承認
・令和８年度事業計画及び予算案の承認
・規約改正の承認
・会員資格審査の承認
・諸報告（各種委員会等の審議・報告等）

５　外部の専門家として、顧問弁護士、公認会計士、社会保険労務士とそれぞれ顧問契約を締結し、法務、会計管理、労務管理の面でそれぞれ助言いただいている。

６　リスクマネジメント
事業活動に内在するリスクについて、以下規則を整備し、手順や体制を整えている。
・電子媒体による会員情報の取り扱いに関する申合わせ
・個人情報の保護に関する細則

７　法令遵守を徹底するため、以下規則を整備し、手順や体制を整えている。
なお、昨年度の通報件数は０件であった。
・倫理委員会規程
・利益相反委員会規程
・特定個人情報取扱規則
・職場におけるハラスメントの防止に関する規則

８　資金管理
資金は全て円建ての預貯金で運用管理している。

［事業報告の附属明細書］
記載すべき事項はない。

(資料２)

令和7年度決算報告書

１．　財務諸表・附属明細書・財産目録
　１．１　貸借対照表
　　付．貸借対照表　内訳表

　１．２　正味財産増減計算書
　　付．正味財産増減計算書　内訳表

　１．３　財務諸表に対する注記

　１．４　附属明細書

　１．５　財産目録

２．　収支計算書（資金収支計算ベース）

　２．１　収支計算書（資金収支計算ベース）

　２．２　収支計算書（資金収支計算ベース）に対する注記

１．１

貸借対照表　　令和8年3月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	270,318,945	187,387,140	82,931,805
前払金	3,553,768	45,029,610	△ 41,475,842
仮払金	11,072,000	5,000,000	6,072,000
未収入金	4,316,466	1,779,708	2,536,758
流動資産　合計	289,261,179	239,196,458	50,064,721
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	36,000,000	36,000,000	0
基本財産　合計	36,000,000	36,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	95,086,010	89,086,010	6,000,000
減価償却引当預金	2,500,000	2,500,000	0
国際交流基金	4,500,000	4,500,000	0
システム開発基金	13,000,000	13,000,000	0
事務所整備基金	30,000,000	30,000,000	0
学術奨励基金	88,100,000	88,100,000	0
伊東賞基金	12,936,631	13,536,631	△ 600,000
工藤賞基金	4,800,000	5,100,000	△ 300,000
啓発準備資金	0	16,132,254	△ 16,132,254
教育関連準備資金	0	6,549,456	△ 6,549,456
データーベース整備資金	0	13,839,096	△ 13,839,096
学術集会準備資金	0	44,500,000	△ 44,500,000
特定資産　合計	250,922,641	326,843,447	△ 75,920,806
(3)その他固定資産			
建物付属設備	2	2	0
什器備品	515,468	487,880	27,588
ソフトウェア	3,470,502	2,704,535	765,967
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産　合計	19,162,672	18,369,117	793,555
固定資産合計	306,085,313	381,212,564	△ 75,127,251
資産合計	595,346,492	620,409,022	△ 25,062,530
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金	5,280,226	16,967,977	△ 11,687,751
前受会費	1,360,164	2,147,969	△ 787,805
前受金	2,850,000	2,625,000	225,000
預り金	659,447	344,699	314,748
会費仮受金	1,451,500	2,211,000	△ 759,500
仮受金	593,669	532,679	60,990
賞与引当金	5,354,281	4,656,809	697,472
流動負債合計	17,549,287	29,486,133	△ 11,936,846
2.固定負債			
退職給付引当金	104,551,990	97,140,732	7,411,258
固定負債合計	104,551,990	97,140,732	7,411,258
負債合計	122,101,277	126,626,865	△ 4,525,588
Ⅲ 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	4,800,000	5,100,000	△ 300,000
指定正味財産合計	4,800,000	5,100,000	△ 300,000
（うち特定資産への充当額）	(4,800,000)	(5,100,000)	(△ 300,000)
2.一般正味財産	468,445,215	488,682,157	△ 20,236,942
（うち基本財産への充当額）	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(151,036,631)	(232,657,437)	(△ 81,620,806)
正味財産合計	473,245,215	493,782,157	△ 20,536,942
負債及び正味財産合計	595,346,492	620,409,022	△ 25,062,530

１．１－付

貸借対照表 内訳表　　令和8年3月31日現在

（単位：円）

科目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ 資産の部					
1.流動資産					
現金預金	47,562,620	57,413,581	165,342,744		270,318,945
前払金	2,500,000	688,248	365,520		3,553,768
仮払金	11,072,000	0	0		11,072,000
未収入金	1,619,267	0	2,697,199		4,316,466
流動資産　合計	62,753,887	58,101,829	168,405,463	0	289,261,179
2.固定資産					
(1)基本財産					
定期預金	0	0	36,000,000	0	36,000,000
基本財産　合計	0	0	36,000,000	0	36,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金			95,086,010	0	95,086,010
減価償却引当預金			2,500,000	0	2,500,000
国際交流基金	4,500,000			0	4,500,000
システム開発基金	13,000,000			0	13,000,000
事務所整備基金			30,000,000	0	30,000,000
学術奨励基金	88,100,000			0	88,100,000
伊東賞基金	12,936,631			0	12,936,631
工藤賞基金	4,800,000			0	4,800,000
啓発準備資金	0			0	0
教育関連準備資金	0			0	0
データーベース整備資金	0			0	0
学術集会準備資金	0			0	0
特定資産　合計	123,336,631	0	127,586,010	0	250,922,641
(3)その他固定資産					
建物付属設備	0	0	2	0	2
什器備品	515,459	0	9	0	515,468
ソフトウェア	179,484	3,291,018	0	0	3,470,502
敷金	7,133,049	3,111,224	4,932,427	0	15,176,700
その他固定資産　合計	7,827,992	6,402,242	4,932,438	0	19,162,672
固定資産合計	131,164,623	6,402,242	168,518,448	0	306,085,313
資産合計	193,918,510	64,504,071	336,923,911	0	595,346,492
Ⅱ 負債の部					
1.流動負債					
未払金	4,541,149	263,177	475,900	0	5,280,226
前受会費	0	0	1,360,164	0	1,360,164
前受金	0	2,850,000	0	0	2,850,000
預り金	91,872	0	567,575	0	659,447
会費仮受金	0	0	1,451,500	0	1,451,500
仮受金	0	0	593,669	0	593,669
賞与引当金	0	0	5,354,281	0	5,354,281
流動負債合計	4,633,021	3,113,177	9,803,089	0	17,549,287
2.固定負債					
退職給付引当金	0	0	104,551,990	0	104,551,990
固定負債合計	0	0	104,551,990	0	104,551,990
負債合計	4,633,021	3,113,177	114,355,079	0	122,101,277
Ⅲ 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	4,800,000	0	0	0	4,800,000
指定正味財産合計	4,800,000	0	0	0	4,800,000
（うち特定資産への充当額）	(4,800,000)	(0)	(0)	0	(4,800,000)
2.一般正味財産	184,485,489	61,390,894	222,568,832	0	468,445,215
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(36,000,000)	(0)	(36,000,000)
（うち特定資産への充当額）	(118,536,631)	(0)	(32,500,000)	(0)	(151,036,631)
正味財産合計	189,285,489	61,390,894	222,568,832	0	473,245,215
負債及び正味財産合計	193,918,510	64,504,071	336,923,911	0	595,346,492

１．２

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで　　（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減	備考
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用収入	45,000	721	44,279	
特定資産運用収入	475,760	4,389	471,371	
入会金収入	1,097,500	1,615,500	△ 518,000	
会費収入	162,280,000	162,801,500	△ 521,500	
事業収入	417,950,319	344,866,573	73,083,746	
参加費収入	(222,080,150)	(173,127,350)	(48,952,800)	
共催セミナー収入ほか	(102,271,504)	(75,516,143)	(26,755,361)	
広告収入	(6,726,500)	(7,218,800)	(△ 492,300)	
試験・新規認定収入	(48,782,000)	(46,960,500)	(1,821,500)	
更新認定収入	(20,419,955)	(26,097,892)	(△ 5,677,937)	
学会誌別刷収入	(17,500)	(14,000)	(3,500)	
資料頒布収入	(13,542,220)	(13,317,780)	(224,440)	
著作権・印税収入	(4,110,490)	(2,614,108)	(1,496,382)	
寄付金収入	3,625,200	2,580,000	1,045,200	
寄付金収入	(3,325,200)	(2,280,000)	(1,045,200)	
指定正味財産からの振替	(300,000)	(300,000)	(0)	
補助金・助成金収入	11,568,460	500,000	11,068,460	
受取利息収入	762,590	160,110	602,480	
雑収入	951,293	67,386	883,907	
経常収益計	598,756,122	512,596,179	86,159,943	
(2)経常費用				
事業費	566,146,807	430,087,122	136,059,685	
学会誌出版費	(35,486,578)	(37,514,842)	(△ 2,028,264)	
発送経費	(4,299,903)	(4,457,205)	(△ 157,302)	
校正費	(4,365,229)	(6,958,048)	(△ 2,592,819)	
顕彰関係費	(6,078,002)	(5,524,080)	(553,922)	
奨学金	(1,200,000)	(7,200,000)	(△ 6,000,000)	
給与手当	(35,553,674)	(33,267,532)	(2,286,142)	
臨時雇い賃金	(13,483,582)	(6,657,879)	(6,825,703)	
法定福利費	(6,532,696)	(6,201,188)	(331,508)	
職員交通費	(1,147,388)	(993,857)	(153,531)	
会計顧問料	(880,000)	(550,000)	(330,000)	
事務所賃借料	(14,186,621)	(13,821,851)	(364,770)	
文具消耗品費	(6,933,097)	(3,415,659)	(3,517,438)	
光熱水料	(1,025,145)	(973,232)	(51,913)	
会場・会議費	(157,461,125)	(110,638,804)	(46,822,321)	学術集会会場費等
印刷費	(29,120,260)	(21,362,017)	(7,758,243)	
通信・運搬費	(10,341,643)	(8,396,055)	(1,945,588)	
旅費・交通費	(17,097,621)	(9,481,011)	(7,616,610)	
頒布資料印刷費	(0)	(429,000)	(△ 429,000)	
支払手数料	(16,458,819)	(7,886,255)	(8,572,564)	
システム運営費	(49,618,870)	(36,330,583)	(13,288,287)	
租税公課	(1,982,996)	(4,685,064)	(△ 2,702,068)	
業務委託費	(110,562,817)	(73,329,330)	(37,233,487)	
会費・分担金	(3,918,399)	(4,197,183)	(△ 278,784)	AFSUMB分担金を含む
関連行事費	(17,013,938)	(7,821,070)	(9,192,868)	
諸謝金	(10,972,936)	(9,539,832)	(1,433,104)	
雑費	(3,740)	(100,320)	(△ 96,580)	
賞与引当金繰入額	(3,614,140)	(3,143,345)	(470,795)	
退職給付費用	(5,002,598)	(3,448,117)	(1,554,481)	
減価償却費	(1,804,990)	(1,763,763)	(41,227)	
管理費	52,846,257	50,918,321	1,927,936	
給与手当	(20,871,057)	(18,267,247)	(2,603,810)	
会計顧問料	(880,000)	(880,000)	(0)	
福利厚生費	(496,335)	(476,666)	(19,669)	
法定福利費	(3,145,372)	(2,985,757)	(159,615)	
職員交通費	(552,447)	(478,523)	(73,924)	
事務所賃借料	(6,830,597)	(6,654,966)	(175,631)	
事務用機器賃借料	(861,520)	(925,320)	(△ 63,800)	
備品費	(603,850)	(0)	(603,850)	
文具消耗品費	(326,603)	(388,447)	(△ 61,844)	
光熱水料	(493,588)	(468,592)	(24,996)	
事務OA化費	(3,271,483)	(1,981,076)	(1,290,407)	
会場・会議費	(251,748)	(2,374,974)	(△ 2,123,226)	
印刷費	(1,149,469)	(968,277)	(181,192)	

科目	当年度	前年度	増減	備考
通信・運搬費	(1,387,902)	(1,240,450)	(147,452)	
旅費交通費	(818,579)	(1,346,733)	(△ 528,154)	
租税公課	(748,404)	(2,204,736)	(△ 1,456,332)	
支払手数料	(2,553,718)	(2,459,349)	(94,369)	
システム運営費	(736,582)	(996,622)	(△ 260,040)	
会費・分担金	(1,033,900)	(1,030,850)	(3,050)	
各種保険料	(314,070)	(304,730)	(9,340)	
業務委託費	(820,600)	(897,600)	(△ 77,000)	
諸謝金	(120,000)	(0)	(120,000)	
雑費	(428,877)	(396,220)	(32,657)	
賞与引当金繰入額	(1,740,141)	(1,513,464)	(226,677)	
退職給付費用	(2,408,660)	(1,660,205)	(748,455)	
減価償却費	(755)	(17,517)	(△ 16,762)	
経常費用計	618,993,064	481,005,443	137,987,621	
当期経常増減額	△ 20,236,942	31,590,736	△ 51,827,678	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 20,236,942	31,590,736	△ 51,827,678	
一般正味財産期首残高	488,682,157	457,091,421	31,590,736	
一般正味財産期末残高	468,445,215	488,682,157	△ 20,236,942	
II 指定正味財産増減の部				
受取交付金	0	0	0	
受取補助金等	0	0	0	
受取寄附金	0	0	0	
一般正味財産への振替額				
受取交付金	( )	( )	0)	
受取補助金等	( )	( )	0)	
受取寄附金	(△ 300,000)	(△ 300,000)	0)	
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
指定正味財産期首残高	5,100,000	5,400,000	△ 300,000	
指定正味財産期末残高	4,800,000	5,100,000	△ 300,000	
III 正味財産期末残高	473,245,215	493,782,157	△ 20,536,942	

１．２－付
正味財産増減計算書 内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計小計	法人会計	内部取引控除	合計
		資格認定事業	会員相互補助事業				
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	45,000		45,000
特定資産運用収入	475,760	0	0	0	0		475,760
入会金収入	548,750	0	0	0	548,750		1,097,500
会費収入	81,140,000	0	0	0	81,140,000		162,280,000
参加費収入	222,080,150	0	0	0	0		222,080,150
共催セミナー収入ほか	102,271,504	0	0	0	0		102,271,504
広告収入	6,726,500	0	0	0	0		6,726,500
試験・新規認定収入	0	48,782,000	0	48,782,000	0		48,782,000
更新認定収入	0	20,419,955	0	20,419,955	0		20,419,955
学会誌別刷収入	17,500	0	0	0	0		17,500
資料頒布収入	13,542,220	0	0	0	0		13,542,220
著作権・印税収入	4,110,490	0	0	0	0		4,110,490
寄付金収入	3,325,200	0	0	0	0		3,325,200
指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0		300,000
補助金・助成金収入	11,568,460	0	0	0	0		11,568,460
受取利息収入	186,969	0	0	0	575,621		762,590
雑収入	903,483	0	0	0	47,810		951,293
経常収益計	447,196,986	69,201,955	0	69,201,955	82,357,181	0	598,756,122
(2)経常費用							
事業費							
学会誌出版費	35,486,578	0	0	0			35,486,578
発送経費	4,299,903	0	0	0			4,299,903
校正費	4,365,229	0	0	0			4,365,229
表彰関係費	6,078,002	0	0	0			6,078,002
奨学金	1,200,000	0	0	0			1,200,000
給与手当	27,415,504	6,931,269	1,206,901	8,138,170			35,553,674
臨時雇い賃金	11,494,006	1,989,576	0	1,989,576			13,483,582
会計顧問料	880,000	0	0	0			880,000
法定福利費	4,548,692	1,742,052	241,952	1,984,004			6,532,696
職員交通費	798,922	305,970	42,496	348,466			1,147,388
事務所賃借料	9,878,092	3,783,099	525,430	4,308,529			14,186,621
文具消耗品費	6,829,753	103,344	0	103,344			6,933,097
光熱水料	713,805	273,372	37,968	311,340			1,025,145
会場・会議費	147,736,577	9,724,548	0	9,724,548			157,461,125
印刷費	25,369,299	3,718,181	32,780	3,750,961			29,120,260
通信・運搬費	5,596,411	4,635,599	109,633	4,745,232			10,341,643
旅費・交通費	15,103,195	1,994,426	0	1,994,426			17,097,621
頒布資料印刷費	0	0	0	0			0
支払手数料	14,973,928	1,484,891	0	1,484,891			16,458,819
システム運営費	47,451,986	2,160,284	6,600	2,166,884			49,618,870
租税公課	1,666,154	316,842	0	316,842			1,982,996
業務委託費	108,637,828	1,924,989	0	1,924,989			110,562,817
会費・分担金	3,918,399	0	0	0			3,918,399
関連行事費	17,013,938	0	0	0			17,013,938
諸謝金	7,195,936	3,777,000	0	3,777,000			10,972,936
雑費	0	3,740	0	3,740			3,740
賞与引当金繰入額	2,516,512	963,771	133,857	1,097,628			3,614,140
退職給付費用	3,483,291	1,334,026	185,281	1,519,307			5,002,598
減価償却費	411,136	1,393,656	198	1,393,854			1,804,990
事業費計	515,063,076	48,560,635	2,523,096	51,083,731	0	0	566,146,807
管理費							
給与手当					20,871,057		20,871,057
会計顧問料					880,000		880,000
福利厚生費					496,335		496,335
法定福利費					3,145,372		3,145,372
職員交通費					552,447		552,447
事務所賃借料					6,830,597		6,830,597
事務用機器賃借料					861,520		861,520
備品費					603,850		603,850
文具消耗品費					326,603		326,603
光熱水料					493,588		493,588
事務OA化費					3,271,483		3,271,483
会場・会議費					251,748		251,748
印刷費					1,149,469		1,149,469
通信・運搬費					1,387,902		1,387,902
旅費交通費					818,579		818,579
租税公課					748,404		748,404
支払手数料					2,553,718		2,553,718
システム運営費					736,582		736,582
会費・分担金					1,033,900		1,033,900
各種保険料					314,070		314,070
業務委託費					820,600		820,600
諸謝金					120,000		120,000
雑費					428,877		428,877
賞与引当金繰入額					1,740,141		1,740,141
退職給付費用					2,408,660		2,408,660
減価償却費					755		755
管理費計	0	0	0	0	52,846,257	0	52,846,257
経常費用計	515,063,076	48,560,635	2,523,096	51,083,731	52,846,257	0	618,993,064
当期経常増減額	△ 67,866,090	20,641,320	△ 2,523,096	18,118,224	29,510,924	0	△ 20,236,942
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 67,866,090	20,641,320	△ 2,523,096	18,118,224	29,510,924	0	△ 20,236,942
他会計振替額	8,055,459	△ 10,578,555	2,523,096	△ 8,055,459	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 59,810,631	10,062,765	0	10,062,765	29,510,924	0	△ 20,236,942
一般正味財産期首残高	244,296,120	50,947,165	380,964	51,328,129	193,057,908	0	488,682,157
一般正味財産期末残高	184,485,489	61,009,930	380,964	61,390,894	222,568,832	0	468,445,215
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	5,100,000			0	0	0	5,100,000
指定正味財産期末残高	4,800,000	0	0	0	0	0	4,800,000
Ⅲ 正味財産期末残高	189,285,489	61,009,930	380,964	61,390,894	222,568,832	0	473,245,215

1．3
財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する定額法による。

（2）引当金の計上基準
①退職給付引当金
職員に対する退職給与の支給に備えるため、法人都合による期末要支給額を計上している。
②賞与引当金
職員に支給する賞与の支出に充当するため、支給見込額を計上している。

（3）消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減とその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
基本財産					
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000	
小　計	36,000,000	0	0	36,000,000	
特定資産					
退職給付引当預金	89,086,010	6,000,000	0	95,086,010	
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000	
国際交流基金	4,500,000	0	0	4,500,000	
システム関連基金	13,000,000	0	0	13,000,000	
事務所整備基金	30,000,000	0	0	30,000,000	
学術奨励基金	88,100,000	0	0	88,100,000	
伊東賞基金	13,536,631	0	600,000	12,936,631	
工藤賞基金	5,100,000	0	300,000	4,800,000	
啓発準備資金	16,132,254	0	16,132,254	0	
教育関連準備資金	6,549,456	0	6,549,456	0	
データーベース整備資金	13,839,096	0	13,839,096	0	
学術集会準備資金	44,500,000	0	44,500,000	0	
小　計	326,843,447	6,000,000	81,920,806	250,922,641	
合　計	362,843,447	6,000,000	81,920,806	286,922,641	

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産			0	
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小　計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	95,086,010	－	－	95,086,010
減価償却引当預金	2,500,000	－	2,500,000	－
国際交流基金	4,500,000	－	4,500,000	－
システム関連基金	13,000,000	－	13,000,000	－
事務所整備基金	30,000,000	－	30,000,000	－
学術奨励基金	88,100,000	－	88,100,000	－
伊東賞基金	12,936,631	－	12,936,631	－
工藤賞基金	4,800,000	4,800,000	－	－
小　計	250,922,641	4,800,000	151,036,631	95,086,010
合　計	286,922,641	4,800,000	187,036,631	95,086,010

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,690,600	3,690,598	2
什器備品	7,103,588	6,588,120	515,468
ソフトウェア	10,098,000	6,627,498	3,470,502
合計	20,892,188	16,906,216	3,985,972

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
学術集会開催補助金・地方会学術集会開催補助金	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローほか	0	11,568,460	11,568,460	0	注
合計		0	11,568,460	11,568,460	0	

注）当該事業年度内に目的たる支出が完了するため、貸借対照表上の記載はありません。

6．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである.

内　容	金　額
経常収益への振替額	
寄付金収入	300,000
合　計	300,000

１．４
附属明細書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記3及び4に記載しているので、内容の記載を省略している。

２．引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	97,140,732	7,411,258			104,551,990
賞与引当金	4,656,809	5,354,281	4,656,809		5,354,281

以上

１．５

財産目録　　令和8年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）			
現金	手許保管	運転資金	95,872
普通預金	りそな銀行　本郷支店	同上	108,749,484
	りそな銀行　本郷支店	同上	488,268
	りそな銀行　本郷支店	同上	31,322,871
	三井住友信託銀行　芝営業部	同上	142,179
	三井住友銀行　神田支店	同上	318,918
	みずほ銀行　本郷支店	同上	7,055,995
	三菱UFJ銀行　本郷支店	同上	90,225,438
	三菱UFJ銀行　春日町支店	同上	1,935,463
	ゆうちょ銀行　一三八支店	同上	1,210,448
郵便振替	00130-8-93294	同上	28,774,009
前払金	会費・分担金に関する前払い	法人会計の前払分	72,000
	保険料に関する前払い	法人会計の前払分	293,520
	学術集会補助金分前払い	（公益目的事業）学術集会事業の前払分	2,500,000
	試験会場費に関する前払い	（収益事業等）認定事業の前払分	688,248
仮払金	学術集会貸付金等	（公益目的事業）学術集会事業等の仮払分	11,072,000
未収入金	会費に関する未収	法人会計の未収分	269,299
	未収入分消費税	（法人会計）法人の運営管理業務に関連した未収金	2,427,900
	学術集会事業等未返金分	（公益目的事業）学術集会事業の未返金分	360,713
	頒布資料に関する未収	（公益目的事業）出版事業の未収分	10,000
	講習会等に関する未収	（公益目的事業）講習会事業の未収分	1,088,426
	e-learning配信に関する未収額ほか	（公益目的事業）出版事業の未収分	160,128
流動資産　合計			289,261,179
（固定資産）			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行　芝営業部（定期預金）	公益目的事業に必要なその他の活動の用に供する財産。 運用益を管理費に充当	36,000,000
特定資産			
退職給付引当預金	りそな銀行　本郷支店（定期預金）	（法人会計）退職給付引当金に対応する積立資産	62,186,010
〃	三井住友銀行　神田支店(定期預金)	同上	4,900,000
〃	三菱UFJ銀行　本郷支店(定期預金)	同上	28,000,000
減価償却引当預金	りそな銀行　本郷支店（定期預金）	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	2,500,000
国際交流基金	三菱UFJ銀行　本郷支店（定期預金）	（公益目的事業）国際交流事業の基金	4,500,000
システム関連基金	りそな銀行　本郷支店（定期預金）	（公益目的事業）広報関連事業の基金	13,000,000
事務所整備基金	三菱UFJ銀行　春日町支店（定期預金）	法人の管理運営の用に供するために保有している積立資産	30,000,000
学術奨励基金	みずほ銀行　本郷支店（定期預金）	（公益目的事業）調査研究及び教育・啓蒙に関する事業の基金	65,500,000
〃	三菱UFJ銀行　本郷支店（定期預金）	同上	22,600,000
工藤賞基金	ゆうちょ銀行（定期貯金）	（公益目的事業）顕彰事業の基金	4,800,000
伊東賞基金	みずほ銀行　本郷支店（定期預金）	同上	12,936,631
その他固定資産			
建物付属設備	事務所に付随する設備	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、 32.5%は管理運営に供している	2
什器備品	会議テーブル、椅子、音響システムほか	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、36.0%は収益事業他に供し、 17.0%は管理運営に供している	9
什器備品	計測機器ほか	（公益事業）学術集会、調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	515,459
ソフトウェア	講習会等申込システム	（公益事業）調査研究及び教育・啓蒙に関する事業に供している	179,484
ソフトウェア	認定試験システムほか	（収益事業）認定事業に供している	3,291,018
敷金	事務所借室　お茶の水センタービル	共用財産。うち47.0%は公益目的保有財産として 公益目的事業に供し、20.5%は収益事業他に供し、 32.5%は管理運営に供している	15,176,700
固定資産　合計			306,085,313
資産　合計			595,346,492
（流動負債）			
未払金	管理費に関する未払金	（法人会計）法人の運営管理業務に関連した未払金	475,900
	学会誌制作費ほか	（公益目的事業）出版事業に関する未払金	776,705
	印刷費ほか	（公益目的事業）教育・啓蒙事業に関する未払金	3,764,444
	印刷費ほか	（収益事業等）認定事業に関する未払金	263,177
前受会費	次年度以降会費受入額	法人の運営管理業務に関連した前受金	1,360,164
前受金	試験・更新に関する受入額	（収益事業）認定事業の前受金	2,850,000
預り金	雇用保険、住民税に関する預り金	（法人会計）法人の運営管理業務に関連した預り金	571,075
	所得税に関する預り金	（公益目的事業）学術集会事業等の預り金	88,372
会費仮受金	新規入会金・初年度会費等に関する受入額	法人の運営管理業務に関連した仮受金	1,451,500
仮受金	不明入金等	法人会計の仮受分	593,669
賞与引当金	令和7年6月の職員賞与支給の見込み額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金	5,354,281
流動負債　合計			17,549,287
（固定負債）			
退職給付引当金	令和7年度末日における法人都合による 期末要支給額	各事業と法人の管理運営業務に関連した引当金（簡便法）	104,551,990
固定負債　合計			104,551,990
負債　合計			122,101,277
正味財産			473,245,215

2．1

収支計算書（資金収支計算ベース）
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	増　減	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
基本財産運用収入	45,000	45,000	0	
入会金収入	1,100,000	1,097,500	2,500	
会費収入	170,482,500	162,280,000	8,202,500	
正会員会費	(79,300,000)	(72,067,000)	(7,233,000)	
シニア会員会費	(17,050,000)	(15,694,000)	(1,356,000)	
準会員会費	(72,600,000)	(72,895,500)	(△ 295,500)	
学生会員会費	(52,500)	(143,500)	(△ 91,000)	
賛助会員会費	(1,480,000)	(1,480,000)	(0)	
学術集会関係	195,128,000	271,112,818	△ 75,984,818	98回学術集会、WFUMB2025(京都市)
参加費収入	(127,300,000)	(176,800,000)	(△ 49,500,000)	
共催セミナー収入ほか	(59,180,000)	(81,995,761)	(△ 22,815,761)	
広告収入	(2,134,000)	(2,816,000)	(△ 682,000)	
寄付金収入	(1,200,000)	(2,100,000)	(△ 900,000)	
補助金・助成金収入	(5,314,000)	(6,338,460)	(△ 1,024,460)	
受取利息	(0)	(160,054)	(△ 160,054)	
雑収入	(0)	(902,543)	(△ 902,543)	
地方会関係	59,468,000	50,661,343	8,806,657	
参加費収入	(19,613,000)	(23,391,150)	(△ 3,778,150)	
共催セミナー収入ほか	(29,228,000)	(20,275,743)	(8,952,257)	
広告収入	(7,057,000)	(3,910,500)	(3,146,500)	
資料頒布収入	(20,000)	(3,000)	(17,000)	
寄付金収入	(2,050,000)	(1,225,000)	(825,000)	
補助金・助成金収入	(1,500,000)	(1,830,000)	(△ 330,000)	
受取利息	(0)	(25,950)	(△ 25,950)	
編集委員会	1,829,900	3,854,563	△ 2,024,663	
学会誌別刷収入	(45,000)	(17,500)	(27,500)	
広告収入	(160,000)	(0)	(160,000)	
資料頒布収入	(224,900)	(184,450)	(40,450)	抄録集頒布代ほか
著作権・印税収入	(1,400,000)	(3,652,613)	(△ 2,252,613)	著作権使用料
研究会関係	0	1,905	△ 1,905	
受取利息	(0)	(965)	(△ 965)	
雑収入	(0)	(940)	(△ 940)	自己資金持ち出し
用語診断基準委員会	0	50,677	△ 50,677	
著作権・印税収入	(0)	(50,677)	(△ 50,677)	
教育委員会	55,000	3,429,700	△ 3,374,700	
資料頒布収入	(55,000)	(29,700)	(25,300)	クリアフォルダ
補助金収入	(0)	(3,400,000)	(△ 3,400,000)	
教育セッション関係	4,800,000	5,175,000	△ 375,000	
参加費収入	(4,800,000)	(5,175,000)	(△ 375,000)	会場開催・Web開催
講習会関係	10,000,000	11,038,000	△ 1,038,000	
参加費収入	(10,000,000)	(11,038,000)	(△ 1,038,000)	
必修講習会	18,427,600	17,053,520	1,374,080	
参加費収入	(5,775,000)	(5,676,000)	(99,000)	会場開催・Web開催
資料頒布収入	(12,652,600)	(11,377,520)	(1,275,080)	e-learning
専門医制度委員会	11,512,100	10,774,050	738,050	
試験・新規認定収入	(5,165,500)	(5,099,000)	(66,500)	受験料/認定料
更新認定収入	(3,535,000)	(3,727,500)	(△ 192,500)	
資料頒布収入	(2,811,600)	(1,947,550)	(864,050)	専門医認定試験問題集
工学ﾌｪﾛｰ認定審査委員会	145,000	150,000	△ 5,000	
新規認定収入	(20,000)	(30,000)	(△ 10,000)	
更新認定収入	(125,000)	(120,000)	(5,000)	
検査士制度委員会	70,769,000	60,632,655	10,136,345	
試験・新規認定収入	(44,470,000)	(43,653,000)	(817,000)	受験料/認定料
更新認定収入	(25,819,000)	(16,572,455)	(9,246,545)	
著作権・印税収入	(480,000)	(407,200)	(72,800)	検査士問題集印税
寄付金収入	0	200	△ 200	
特定資産運用収入	229,121	475,760	△ 246,639	
受取利息収入	83,000	575,621	△ 492,621	
雑収入	4,000	47,810	△ 43,810	
事業活動収入計　(A)	544,078,221	598,456,122	△ 54,377,901	

科　　目	予　算　額	決　算　額	増　　減	備　　考
2. 事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	228,630,983	266,163,470	△ 37,532,487	98回学術集会、WFUMB2025(京都市)
臨時雇い賃金	(12,625,661)	(3,151,220)	(9,474,441)	
会計顧問料	(1,100,000)	(880,000)	(220,000)	
文具消耗品費	(566,500)	(4,288,127)	(△ 3,721,627)	
会場・会議費	(88,772,615)	(113,445,923)	(△ 24,673,308)	
印刷費	(13,510,255)	(14,965,031)	(△ 1,454,776)	
通信・運搬費	(556,420)	(279,200)	(277,220)	
旅費交通費	(16,579,420)	(10,497,356)	(6,082,064)	
支払手数料	(3,819,000)	(12,342,255)	(△ 8,523,255)	
システム運営費	(15,077,700)	(10,659,704)	(4,417,996)	
業務委託費	(40,480,080)	(77,251,539)	(△ 36,771,459)	
各種賞金	(1,100,000)	(164,002)	(935,998)	
関連行事費	(16,638,050)	(17,013,938)	(△ 375,888)	
諸謝金	(4,590,000)	(1,225,175)	(3,364,825)	
雑費	(13,215,282)	(0)	(13,215,282)	
学術集会(本部)・委員会	6,283,579	5,826,623	456,956	
会場・会議費	(52,400)	(0)	(52,400)	
会場・会議費	(1,206,920)	(0)	(1,206,920)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
印刷費	(441,540)	(360,800)	(80,740)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
通信・運搬費	(83,000)	(63,733)	(19,267)	
通信・運搬費	(11,000)	(9,460)	(1,540)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
旅費交通費	(714,300)	(751,004)	(△ 36,704)	
システム運営費	(200,000)	(6,600)	(193,400)	
システム運営費	(55,000)	(0)	(55,000)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
業務委託費	(3,519,419)	(4,635,026)	(△ 1,115,607)	市民公開講座 ※特定費用準備資金
地方会関係	74,743,400	64,964,954	9,778,446	
臨時雇い賃金	(4,710,000)	(8,268,786)	(△ 3,558,786)	
文具消耗品費	(1,802,200)	(2,415,999)	(△ 613,799)	
会場・会議費	(15,209,390)	(29,704,905)	(△ 14,495,515)	
印刷費	(7,301,000)	(4,238,493)	(3,062,507)	
通信・運搬費	(1,224,150)	(3,068,803)	(△ 1,844,653)	
旅費交通費	(2,005,000)	(1,419,676)	(585,324)	
支払手数料	(488,200)	(1,101,015)	(△ 612,815)	
システム運営費	(980,000)	(4,508,130)	(△ 3,528,130)	
業務委託費	(37,333,460)	(8,171,799)	(29,161,661)	
各種賞金	(1,050,000)	(614,000)	(436,000)	
関連行事費	(100,000)	(0)	(100,000)	
諸謝金	(2,540,000)	(1,453,348)	(1,086,652)	
地方会(本部)・委員会	3,494,180	3,852,280	△ 358,100	
会場・会議費	(69,680)	(14,260)	(55,420)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
支払手数料	(0)	(156,200)	(△ 156,200)	
システム運営費	(3,414,500)	(3,679,060)	(△ 264,560)	
旅費交通費	(0)	(2,760)	(△ 2,760)	
編集委員会	48,031,600	44,747,439	3,284,161	
学会誌出版費	(35,175,800)	(35,486,578)	(△ 310,778)	
発送経費	(5,953,800)	(4,299,903)	(1,653,897)	
校正費	(6,020,000)	(4,365,229)	(1,654,771)	
諸謝金	(500,000)	(0)	(500,000)	
支払手数料	(0)	(97,229)	(△ 97,229)	
システム運営費	(382,000)	(459,250)	(△ 77,250)	
会場・会議費	(0)	(15,660)	(△ 15,660)	
印刷費	(0)	(19,250)	(△ 19,250)	
旅費交通費	(0)	(4,340)	(△ 4,340)	
研究開発促進委員会	185,692	12,420	173,272	
文具消耗品費	(1,500)	(0)	(1,500)	
会場・会議費	(24,192)	(6,480)	(17,712)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(150,000)	(5,940)	(144,060)	
研究会関係	1,050,000	980,409	69,591	3研究会
臨時雇い賃金	(0)	(74,000)	(△ 74,000)	
文具消耗品費	(150,000)	(85,999)	(64,001)	
会場・会議費	(560,000)	(114,903)	(445,097)	
印刷費	(50,000)	(0)	(50,000)	
通信・運搬費	(40,000)	(430)	(39,570)	
旅費交通費	(200,000)	(703,292)	(△ 503,292)	
支払手数料	(0)	(1,785)	(△ 1,785)	
諸謝金	(50,000)	(0)	(50,000)	
顕彰委員会	6,220,720	5,632,807	587,913	
各種賞金	(5,200,000)	(5,300,000)	(△ 100,000)	各種賞金
文具消耗品費	(0)	(19,885)	(△ 19,885)	
会場・会議費	(203,200)	(0)	(203,200)	
印刷費	(111,320)	(37,510)	(73,810)	
通信・運搬費	(30,000)	(4,092)	(25,908)	
旅費交通費	(676,200)	(271,320)	(404,880)	

科　　目	予　算　額	決　算　額	増　減	備　　考
用語・診断基準委員会	2,122,260	1,765,257	357,003	
校正費	(300,000)	(0)	(300,000)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
文具消耗品費	(0)	(10,097)	(△ 10,097)	
会場・会議費	(400,360)	(0)	(400,360)	
印刷費	(0)	(424,050)	(△ 424,050)	
通信・運搬費	(3,000)	(2,510)	(490)	
旅費交通費	(195,900)	(0)	(195,900)	
システム運営費	(913,000)	(1,018,600)	(△ 105,600)	
機器及び標準化に関する委員会	11,606,426	4,774,434	6,831,992	
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	
会場・会議費	(93,696)	(44,913)	(48,783)	
会場・会議費	(0)	(7,776)	(△ 7,776)	※特定費用準備資金
印刷費	(10,000,000)	(2,971,100)	(7,028,900)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(220)	(△ 220)	└教育ビデオコンテンツ制作費含む
旅費交通費	(1,462,730)	(651,780)	(810,950)	
旅費交通費	(0)	(233,060)	(△ 233,060)	※特定費用準備資金
システム運営費	(0)	(731,940)	(△ 731,940)	※特定費用準備資金
諸謝金	(0)	(133,645)	(△ 133,645)	※特定費用準備資金
安全委員会	516,241	200,000	316,241	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(50,456)	(0)	(50,456)	
旅費交通費	(265,785)	(0)	(265,785)	
教育委員会	1,054,320	1,760	1,052,560	
会場・会議費	(80,480)	(0)	(80,480)	
通信・運搬費	(3,000)	(1,760)	(1,240)	
旅費交通費	(970,840)	(0)	(970,840)	
教育セッション関係	4,404,745	4,444,782	△ 40,037	
システム運営費	(1,122,880)	(0)	(1,122,880)	教育セッションWeb配信
業務委託費	(1,827,056)	(2,461,030)	(△ 633,974)	
諸謝金	(784,809)	(858,508)	(△ 73,699)	講師旅費を含む
印刷費	(650,000)	(977,680)	(△ 327,680)	教育セッションテキスト含む
通信・運搬費	(20,000)	(0)	(20,000)	
支払手数料	(0)	(147,564)	(△ 147,564)	
講習会関係	13,644,040	11,231,719	2,412,321	講習会4回(現地+オンデマンド)
システム運営費	(1,078,000)	(975,501)	(102,499)	※特定費用準備資金を含む
業務委託費	(2,000,000)	(823,449)	(1,176,551)	※特定費用準備資金を含む
諸謝金	(3,336,440)	(3,129,546)	(206,894)	講師旅費を含む
会場・会議費	(5,529,600)	(4,366,357)	(1,163,243)	
印刷費	(800,000)	(785,510)	(14,490)	講習会テキスト含む
通信・運搬費	(100,000)	(52,206)	(47,794)	
旅費交通費	(800,000)	(562,311)	(237,689)	
支払手数料	(0)	(536,839)	(△ 536,839)	※特定費用準備資金を含む
必修講習会	5,032,200	4,174,863	857,337	
システム運営費	(0)	(363,000)	(△ 363,000)	
業務委託費	(3,340,000)	(2,592,040)	(747,960)	※特定費用準備資金を含む
諸謝金	(182,000)	(202,070)	(△ 20,070)	講師旅費を含む
印刷費	(876,000)	(435,050)	(440,950)	講習会テキスト/※特定費用準備資金を含む
支払手数料	(634,200)	(582,703)	(51,497)	※特定費用準備資金を含む
国際交流委員会	5,171,634	4,684,155	487,479	
奨学金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)	1名
会費・分担金	(3,737,002)	(3,408,399)	(328,603)	AFSUMB分担金
諸謝金	(60,000)	(60,000)	(0)	
会場・会議費	(16,632)	(15,400)	(1,232)	
通信・運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	
旅費交通費	(148,000)	(356)	(147,644)	
広報委員会	11,395,500	15,885,172	△ 4,489,672	
システム運営費	(651,500)	(0)	(651,500)	
システム運営費	(5,805,000)	(11,982,201)	(△ 6,177,201)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(0)	(9,646)	(△ 9,646)	※特定費用準備資金
印刷費	(0)	(154,825)	(△ 154,825)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(2,356)	(△ 2,356)	
業務委託費	(4,939,000)	(3,602,500)	(1,336,500)	※特定費用準備資金
諸謝金	(0)	(133,644)	(△ 133,644)	※特定費用準備資金
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	29,117,450	22,281,305	6,836,145	
システム運営費	(10,636,000)	(13,068,000)	(△ 2,432,000)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	※特定費用準備資金
会議・会場費	(120,000)	(0)	(120,000)	※特定費用準備資金
通信・運搬費	(0)	(104,522)	(△ 104,522)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,050,000)	(0)	(1,050,000)	※特定費用準備資金
支払手数料	(0)	(8,338)	(△ 8,338)	※特定費用準備資金
業務委託費	(16,033,450)	(9,100,445)	(6,933,005)	※特定費用準備資金
諸謝金	(1,228,000)	(0)	(1,228,000)	※特定費用準備資金

科　　目	予　算　額	決　算　額	増　　減	備　　考
専門医制度委員会	9,259,411	6,750,194	2,509,217	
システム運営費	(3,586,000)	(1,860,804)	(1,725,196)	
業務委託費	(175,000)	(165,000)	(10,000)	
諸謝金	(897,000)	(972,000)	(△ 75,000)	
臨時雇い賃金	(718,080)	(224,400)	(493,680)	
文具消耗品費	(0)	(34,349)	(△ 34,349)	
会場・会議費	(1,236,400)	(1,239,423)	(△ 3,023)	
印刷費	(711,150)	(784,733)	(△ 73,583)	
通信・運搬費	(631,760)	(674,403)	(△ 42,643)	
旅費交通費	(1,304,021)	(795,082)	(508,939)	
工学フェロー認定審査委員会	77,390	28,082	49,308	
会場・会議費	(4,400)	(0)	(4,400)	
印刷費	(31,350)	(3,536)	(27,814)	
通信・運搬費	(24,540)	(24,546)	(△ 6)	
旅費交通費	(17,100)	(0)	(17,100)	
検査士制度委員会	25,307,636	23,969,618	1,338,018	
システム運営費	(450,000)	(299,480)	(150,520)	
業務委託費	(1,120,000)	(1,759,989)	(△ 639,989)	
諸謝金	(2,652,500)	(2,805,000)	(△ 152,500)	
臨時雇い賃金	(2,030,560)	(1,765,176)	(265,384)	
文具消耗品費	(70,000)	(68,995)	(1,005)	
会場・会議費	(8,187,848)	(8,485,125)	(△ 297,277)	
印刷費	(3,184,700)	(2,929,912)	(254,788)	
通信・運搬費	(4,024,928)	(3,167,966)	(856,962)	
旅費交通費	(1,957,780)	(1,199,344)	(758,436)	
支払手数料	(1,579,320)	(1,484,891)	(94,429)	
雑費	(50,000)	(3,740)	(46,260)	
在り方委員会	69,724	0	69,724	
会場・会議費	(7,344)	(0)	(7,344)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
旅費交通費	(59,380)	(0)	(59,380)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	225,580	42,251	183,329	
会場・会議費	(95,080)	(0)	(95,080)	
印刷費	(100,000)	(32,780)	(67,220)	
通信・運搬費	(30,500)	(2,871)	(27,629)	
システム運営費	(0)	(6,600)	(△ 6,600)	
災害対策委員会	44,060	0	44,060	
会場・会議費	(41,060)	(0)	(41,060)	
通信・運搬費	(3,000)	(0)	(3,000)	
事業費計	487,688,771	492,413,994	△ 4,725,223	
管理費				
給与手当	60,000,000	61,081,540	△ 1,081,540	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	570,000	496,335	73,665	
法定福利費	10,500,000	9,678,068	821,932	
職員交通費	1,672,500	1,699,835	△ 27,335	
事務所賃借料	20,770,600	21,017,218	△ 246,618	
事務用機器賃借料	820,000	861,520	△ 41,520	
備品費	500,000	603,850	△ 103,850	
文具消耗品費	380,000	326,603	53,397	
光熱水料	1,400,000	1,518,733	△ 118,733	
事務OA化費	3,000,000	3,271,483	△ 271,483	
会場・会議費	350,000	251,748	98,252	
印刷費	1,100,000	1,149,469	△ 49,469	
通信・運搬費	3,450,000	4,270,467	△ 820,467	
旅費交通費	1,300,000	781,839	518,161	
各種保険料	308,000	314,070	△ 6,070	
支払手数料	3,500,000	2,553,718	946,282	
システム運営費	3,400,000	516,582	2,883,418	
租税公課	7,100,000	2,731,400	4,368,600	消費税
会費・分担金	450,000	433,900	16,100	日本医学会連合・公益法人協会ほか
業務委託費	897,600	820,600	77,000	
諸謝金	0	120,000	△ 120,000	外部役員
雑費	500,000	428,877	71,123	

科　　目	予　算　額	決　算　額	増　減	備　　考
保険委員会	652,540	600,000	52,540	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(20,000)	(0)	(20,000)	
通信・運搬費	(5,000)	(0)	(5,000)	
旅費交通費	(27,540)	(0)	(27,540)	
倫理委員会	0	34,200	△ 34,200	
旅費交通費	(0)	(34,200)	(△ 34,200)	
利益相反委員会	0	2,540	△ 2,540	
旅費交通費	(0)	(2,540)	(△ 2,540)	
選挙関係	0	220,000	△ 220,000	
システム運営費	(0)	(220,000)	(△ 220,000)	
管理費計	123,501,240	116,664,595	6,836,645	
事業活動支出計 **(B)**	611,190,011	609,078,589	2,111,422	
事業活動収支差額 **(C)**=(A)-(B)	△ 67,111,790	△ 10,622,467	△ 56,489,323	
Ⅱ　投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	67,400,000	81,920,806	△ 14,520,806	
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(10,000,000)	(16,132,254)	(△ 6,132,254)	※特定費用準備資金
教育関連準備資金取崩収入	(0)	(6,549,456)	(△ 6,549,456)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(12,000,000)	(13,839,096)	(△ 1,839,096)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金取崩収入	(44,500,000)	(44,500,000)	(0)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 **(D)**	67,400,000	81,920,806	△ 14,520,806	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	6,000,000	6,000,000	0	
退職給付引当預金支出	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)	
什器備品購入支出	0	245,300	△ 245,300	
ソフトウェア購入支出	0	2,354,000	△ 2,354,000	専門医認定試験システム
投資活動支出計 **(E)**	6,000,000	8,599,300	△ 2,599,300	
投資活動収支差額 **(F)**=(D)-(E)	61,400,000	73,321,506	△ 11,921,506	
Ⅲ　財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 **(G)**	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 **(H)**	0	0	0	
財務活動収支差額 **(J)**=(G)-(H)	0	0	0	
Ⅳ　予備費支出		－	0	
当期収支差額 **(K)**=(C)+(F)+(J)	△ 5,711,790	62,699,039	△ 68,410,829	
前期繰越収支差額 **(L)**	0	214,367,134	△ 214,367,134	
次期繰越収支差額 **(K)**+(L)	0	277,066,173	△ 277,066,173	

２．２
収支計算書（資金収支計算ベース）に対する注記

１．資金の範囲
資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払金、仮払金、未払金、前受会費、前受金、預り金、会費仮受金及び仮受金を含めている。

２．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳
次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
現金預金	187,387,140	270,318,945
前払金	45,029,610	3,553,768
仮払金	5,000,000	11,072,000
未収入金	1,779,708	4,316,466
合計（A）	239,196,458	289,261,179
未払金	16,967,977	5,280,226
前受会費	2,147,969	1,360,164
前受金	2,625,000	2,850,000
預り金	344,699	659,447
会費仮受金	2,211,000	1,451,500
仮受金	532,679	593,669
合計（B）	24,829,324	12,195,006
次期繰越収支差額（A－B）	214,367,134	277,066,173

(資料３)

監 査 報 告 書

公益社団法人日本超音波医学会

理 事 長　岩永 史郎 殿

令和8年4月21日

監 事　南江 昭子　印

監 事　日浅 陽一　印

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査　帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査　理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。

(2) 事業報告書の内容は事実であると認める。

理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以 上

監査報告書

2026年4月21日

公益社団法人日本超音波医学会
理事長　岩永　史郎　殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士　馬目利昭

１．監査の方法と概要

私は、公益社団法人日本超音波医学会の2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行いました。

監査に当たって、私は、試査を基礎とし、通帳、請求書、領収書等の関係証憑と会計帳簿間の照合、及び財務諸表等が適正に作成されているか検討を行いました。

２．監査意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益社団法人日本超音波医学会の2025年度末日現在の財政状態及び同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

(資料４)

公益社団法人日本超音波医学会　令和８年度事業計画書

（自　令和８年４月１日　至　令和９年３月31日）

令和８年度における本会の事業計画は次のとおりである。

［公益目的事業　学会誌等出版事業］
Ⅰ　学術集会
　学術集会を下記のとおり年１回開催し、講演抄録は本会電子ジャーナルにて公開する。
　　第99回学術集会 会長 古川まどか
　　令和８年５月29日(金)～５月31日(日) 於：東京国際フォーラム(東京都千代田区)
　令和８年度以降の予定
　　第100回学術集会 会長 尾本きよか
　　令和９年５月28日(金)～５月30日(日)　於：大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)
　　第101回学術集会 会長 瀬尾由広
　　令和９年５月26日(金)～５月28日(日)　於：名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)

［公益目的事業　学術集会・講習会等事業］
Ⅱ　地方会学術集会
　下記の予定で地方会を開催する。
　a.北海道地方会学術集会
　　第56回　会長　山本義也
　　令和８年10月10日(土)　於：北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)
　b.東北地方会学術集会
　　第72回　会長　藤森敬也
　　令和８年９月６日(日)　於：コラッセ福島(福島県福島市)
　　第73回　会長　宗久佳子
　　令和９年３月７日(日)　於：仙台市中小企業活性化センター　多目的ホール(宮城県仙台市)
　c.関東甲信越地方会学術集会
　　第38回　会長　小路　直
　　令和８年10月10日(土)～11日(日)　於：有明セントラルタワー＆カンファレンス(東京都江東区)
　d.中部地方会学術集会
　　第47回　会長　竹田欽一
　　令和８年９月６日(日)　於：ウインクあいち(愛知県名古屋市)
　e.関西地方会学術集会
　　第53回　会長　金川武司
　　令和８年12月12日(土)　於：大阪国際会議場(大阪府大阪市)
　f.中国地方会学術集会
　　第62回　会長　太田哲郎
　　令和８年９月５日(土)～６日(日)　　於：くにびきメッセ(島根県松江市)
　g.四国地方会学術集会
　　第36回　会長　細川　忍
　　令和８年10月17日(土)　於：徳島赤十字病院内(徳島県小松島市)
　h.九州地方会学術集会
　　第36回　会長　古川浩二郎、副会長　楠瀬　賢也
　　令和８年10月17日(土)　於：沖縄県市町村自治会館(沖縄県那覇市)

Ⅲ　教育セッション・超音波診断講習会・小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)・必修講習会
　a.教育セッション
　　第25回教育セッション　令和８年５月29日(金)～31日(日)　於：東京国際フォーラム(東京都千代田区)
　b.超音波診断講習会
　　超音波診断講習会(循環器)　令和８年11月７日(土)　於：KKRホテル熊本(熊本県熊本市)
　　超音波診断講習会(総合)　令和９年１月開催予定　於：大阪府予定
　　超音波診断講習会(乳腺)　令和９年２月開催予定　於：東京都予定
　　超音波診断講習会(消化器)　令和９年３月開催予定　於：沖縄県予定
　c.小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)　令和９年３月開催予定　於：沖縄県予定
　d.必修講習会
　　第99回学術集会　令和８年５月31日(日)　於：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

Ⅳ　学会誌の発行
　和文誌「超音波医学」(７冊)：第53巻 Supplement号、３～６号及び第54巻１・２号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(４冊)：第53巻２～４号及び第54巻１号の計11冊を発行する。

Ⅴ　各種委員会等
［公益目的事業　学術集会・講習会等事業］
　１　学術集会委員会
　　a.学術集会の在り方を考えて、その運営が円滑に行われるように助言する。

［公益目的事業　学術集会・講習会等事業］
　２　地方会委員会
　　a.地方会に関する事業の発展、充実、及び円滑な運営の促進
　　１)各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導、及び助言を行う。
　　２)地方交付金の算定を行い、交付する。
　　３)地方会学術集会に関して助言を行う。
　　４)地方会講習会に関して助言を行う。
　　５)学術集会委員会・在り方検討委員会と共同して正会員増加に関する検討を行う。
　　b.地方会委員会会議、及び地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
　　c.地方会を通じて正会員数増加の推進を行う。
　　d.各地方会学術集会演題受付ウェブシステムを利用し、抄録のウェブ掲載を行う。

［公益目的事業　学術集会・講習会等事業］
　３　教育委員会

a. 第99回学術集会会期中に東京国際フォーラムを会場として、第25回教育セッションを開催する。
b. 第100回学術集会会期中に開催予定の「第26回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
c. 2026年度に超音波診断講習会(循環器・消化器・乳腺・総合)４領域を開催する。
d. 2027年度に開催する超音波診断講習会を企画し、開催に向けての準備を行う。
e. 2026年度に小規模講習会(腹部ハンズオンセミナー)を開催する。
f. 第99回学術集会会期中に東京国際フォーラムを会場として、「必修講習会」を開催する。
g. 機器及び標準化に関する委員会、及び教育委員会と共同でワーキンググループにて、超音波医学に関する医学部教育用及び一般市民向けのコンテンツを策定する。

[公益目的事業　調査研究事業]
４　用語・診断基準委員会
a. 医用超音波用語関係
１)医用超音波用語集の大改訂を行う。
２)他学会との交流、及び連携を図り、用語の整合性について検討を行う。
b. 診断基準関係
１)「結節甲状腺腫診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
２)「消化管診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
３)「胆嚢癌超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
４)「乳房造影超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
５)「超音波による四肢動脈病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
６)「胎児発育不全の診断ガイドライン」公示に向けて検討を行う。
７)「超音波による腎血管病変の標準的評価法」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
８)「成人心臓弁膜症の心エコー図診断」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
９)「新生児・乳児の股関節脱臼診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
10)「エラストグラフィ(肝臓)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
11)「脂肪肝(超音波減衰法)ガイドライン」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
12)「胎児心不全の定義」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。
13)「門脈圧亢進症における超音波診断基準」(案)パブリックコメント募集に向けて検討を行う。

[公益目的事業　調査研究事業]
５　機器及び標準化に関する委員会
a. 「SWE(shear wave elastography)の標準化小委員会」において、SWEの標準化に関する検討を行う。
b. 超音波診断機器の規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員１名を派遣する。
c. 超音波のオンライン学習プラットホーム向けのコンテンツを策定する。
d. 穿刺時の超音波プローブの消毒について「体表・泌尿器・産婦人科」の３領域について検討を行う。
e. 新しい機器に関する啓発活動を行う。
f. 会員からの機器に関する問い合わせに対応する。

[公益目的事業　調査研究事業]
６　安全委員会
a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。
b. 「音響放射力の生体への影響検討小委員会」において、音響放射力インパルスの生体への影響について検討を行う。
c. 超音波のオンライン学習プラットホーム向けのコンテンツを策定する。

[公益目的事業　調査研究事業]
７　超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会
a. 臨床研究等のICT基盤構築に関する調査研究事業として、超音波医療の研究・教育に資する超音波画像データを収集し、超音波研究用データベースを構築・維持する。
b. 構築した超音波研究用データベースを用い、超音波診断を支援する人工知能の開発研究に取り組む。
c. 収集した超音波画像データと付帯情報を用いて開発された医療機器の社会実装のため、次世代医療基盤法に基づき認定匿名/仮名加工医療情報作成事業者(認定事業者)との契約を進める。

[公益目的事業　研究開発促進事業]
８　研究開発促進委員会
a. 令和８年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
b. 令和９年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
c. 学会備品貸し出しの審査を行う。

[公益目的事業　国際交流事業]
９　国際交流委員会
a. 公益社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「公益社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
１)2025年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する
２)2027年度JSUM Fellowship研修生を公募して、選考する。
３)今後の国際貢献の在り方について検討する。
b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
１)令和８年５月７日～８日に韓国ソウル市において開催される第57回KSUM大会に学術、広報などの面で協力する。
２)令和９年５月20日23日にペルー・リマ市において開催される第21回WFUMB大会に学術・広報などの面で協力する。
３)令和10年にモンゴル・ウランバートル市において開催されるAFSUMB学術集会に学術・広報などの面で協力する。
４)AFSUMB、及びWFUMBのEducation Programに協力する。
５)本会の国際化を一層推進するため、新たな交流事業について検討する。
c. 超音波医学に関して国際的に活躍されている方で本会名誉会員にふさわしい方を検討し、理事会へ推薦する。

[公益目的事業　表彰事業]
10　顕彰委員会
a. 第28回特別学会賞の選考を行う。
b. 第５回工藤賞の選考を行う。
c. 第26回技術賞の選考を行う。
d. 第40回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
e. 第21回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
f. 第27回奨励賞の選考を行う。
g. 第15回新人賞(地方会)の選考を行う。

[公益目的事業　学会誌等出版事業]

11　編集委員会
a.和文誌「超音波医学」(７冊)：第53巻 Supplement号、３～６号及び第54巻１・２号並びに英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」(４冊)：第53巻２～４号及び第54巻１号の計11冊を発行する。
b.メールマガジンを配信する。
c.総説及び特集など企画を立案し、編集委員会での審議を経て、執筆を依頼する。
d.Impact Factor値向上のための方策を検討する。

[公益目的事業　学会誌等出版事業]
12　広報委員会
a.本学会の活動情報および超音波医学に関する情報について、ウェブサイト、SNS、フライヤー作成ならびにメールマガジンなどを活用し、継続的かつ効果的な広報を行う。
b.動画コンテンツ等を制作し、医療従事者および理工学関係者を対象として、超音波医学の理解促進、認知向上ならびに本学会への入会促進を目的とした広報活動を行う。
c.一般市民を対象として、超音波医学に関する正しい理解の促進および認知向上を目的とした広報活動を行う。
d.関連する他学会と連携し、相互の情報発信を通じて、超音波医学の普及および社会的認知の向上を図る。

[収益事業　資格認定事業]
13　超音波専門医制度委員会
a.第36回超音波専門医認定試験を実施する。
b.第37回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織する。
c.令和８年度超音波指導医の認定審査を実施する。
d.第32回超音波専門医資格更新審査を実施する。
e.令和８年度指定の研修施設・基幹施設・連携施設に、令和８年４月１日付けで指定証を交付する。
f.令和９年度研修施設・基幹施設・連携施設の指定に向けて審査を実施する。
g.超音波専門医制度に関する啓発を、会員に積極的に行う。
h.超音波専門医制度に関する他学会との連携を深める。
i.一般社団法人日本専門医機構の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に資する。
j.基本領域サブスペシャルティ連絡協議会が認定するサブスペシャルティ専門医の取得を目指し、必要な方策を実施する。

[収益事業　資格認定事業]
14　超音波検査士制度委員会
a.第41回超音波検査士認定試験を実施する。
b.第37回超音波検査士資格更新を実施する。
c.第14回超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験を実施する。
d.第10回超音波指導検査士(腹部領域)資格更新を実施する。
e.超音波検査士の更なる育成を図り、非会員の検査士との連絡方法などの利便性を検討する。
f.「超音波指導検査士(腹部領域及び血管領域及び体表臓器領域)認定試験のための講習会」を実施する。
g.超音波検査士(超音波指導検査士も含む)認定問題集(第６版)発行のため、編集を行う。

[収益事業　資格認定事業]
15　超音波工学フェロー認定審査委員会
a.第28回超音波工学フェローの認定審査を実施する。
b.第23回超音波工学フェロー資格更新審査を実施する。
c.超音波工学フェロー制度の活性化のために構築した工学フェロー検索システムの広報を行い、浸透を図る。
d.超音波工学フェロー制度の活性化の議論を行い、必要な方策を実施する。

[会員相互補助事業]
16　在り方検討委員会
a.会員資格担当理事と連携して、今後の短期、長中期で会員増の方策を検討し、委員会独自の提言を行う。
b.本会正会員入会資格要件について検討を行う。

[会員相互補助事業]
17　災害対策委員会
a.「災害時の超音波診断装置貸与に関する支援マニュアル」、「災害時の医療支援活動窓口担当者マニュアル」を発行する。
b.災害が発生した場合には、地方会や災害時の医療支援活動窓口担当者、現地医療機関・医療関係者、各協力企業との連携の下で、装置の手配・搬送・回収など一連の貸与関連業務を支援する。
c.災害発生に備え、地方会を通じて各都道府県における医療支援活動窓口担当者の確認を行う。

[会員相互補助事業]
18　キャリア支援・ダイバーシティ推進委員会
a.委員会内の「Early Career部会」のリーダー・サブリーダーを決定する。
b.Early Career部会よる第99回学術集会会期中のキャリア支援・ダイバーシティのシンポジウムを企画・開催する。
c.アンダー40、及び女性会員の年次学術集会及び各地方会での座長割合を増加させる活動を行う。

[法人事業／法人管理関係]
19　保険委員会
a.次回療報酬改定に向け要望項目について、会員にアンケート調査を行い、次回診療報酬改定に向けての準備を行う。
b.引き続き、内保連・外保連に委員を派遣し、関連他学会との情報交換を行う。
c.例年のように超音波専門医研修施設宛に各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の実態把握のためのアンケート調査を行う。

[法人事業／法人管理関係]
20　倫理委員会
a.倫理に関する事項について検討を行う。

[法人事業／法人管理関係]
21　利益相反委員会
a.学会員の利益相反に関するマネージメントを行う。
b.利益相反に関する指針について必要に応じて改訂の検討を行う。

[法人事業／法人管理関係]
22　会員資格審査関係

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記の認定の審査を行う。
a. 入会希望者、及び退会希望者の審査
b. 会員資格喪失該当者の審査
c. 会員種別変更希望者の審査
d. 休会希望者の審査
e. 災害被災者の会費免除の審査
f. 会員数の動向調査
g. 入会条件の検討

［法人事業／法人管理関係］
23　規約関係
a. 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

［法人事業／法人管理関係］
24　個人情報保護関係
a. 本会が保有する個人情報提を適切に管理する。

［会員相互補助事業］
Ⅵ　日本医学会関係
１　日本医学会定時総会に出席する。
２　第32回日本医学会総会に協力する。
３　令和８年度日本医学会分科会用語委員会に出席する。
４　日本医学会研究倫理教育研修会に出席する。

(資料５)

令和8年度　収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　減	備　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
基本財産運用収入	99,000	45,000	54,000	
入会金収入	1,050,000	1,100,000	△ 50,000	正会員新入会特別措置あり
会費収入	178,085,000	170,482,500	7,602,500	
正会員会費	(81,900,000)	(79,300,000)	(2,600,000)	@13,000円×6,300人
シニア会員会費	(17,600,000)	(17,050,000)	(550,000)	@11,000円×1,600人
準会員会費	(77,000,000)	(72,600,000)	(4,400,000)	@10,000×1,400・@7,000×9,000
学生会員会費	(105,000)	(52,500)	(52,500)	@3,500円×30人
賛助会員会費	(1,480,000)	(1,480,000)	(0)	@40,000円×37口（9社）
学術集会関係	165,417,000	195,128,000	△ 29,711,000	99回：東京
参加費収入	(119,920,000)	(127,300,000)	(△ 7,380,000)	
共催セミナー収入ほか	(44,760,000)	(59,180,000)	(△ 14,420,000)	
広告収入	(737,000)	(2,134,000)	(△ 1,397,000)	
寄付金収入	(0)	(1,200,000)	(△ 1,200,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(5,314,000)	(△ 5,314,000)	
地方会・地方会学術集会関係	57,055,000	59,468,000	△ 2,413,000	
参加費収入	(21,497,000)	(19,613,000)	(1,884,000)	
共催セミナー収入ほか	(26,710,000)	(29,228,000)	(△ 2,518,000)	
広告収入	(6,288,000)	(7,057,000)	(△ 769,000)	
資料頒布収入	(0)	(20,000)	(△ 20,000)	
寄付金収入	(2,560,000)	(2,050,000)	(510,000)	
補助金・助成金収入	(0)	(1,500,000)	(△ 1,500,000)	
編集委員会	2,351,921	1,829,900	522,021	
学会誌別刷収入	(15,000)	(45,000)	(△ 30,000)	和文誌6回
広告収入	(0)	(160,000)	(△ 160,000)	
著作権・印税収入	(2,112,021)	(1,400,000)	(712,021)	著作権使用料
資料頒布収入	(224,900)	(224,900)	(0)	オンデマンド印刷等頒布ほか
教育委員会	55,000	55,000	0	
資料頒布収入	(55,000)	(55,000)	(0)	クリアフォルダ
教育セッション関係	5,100,000	4,800,000	300,000	
参加費収入	(5,100,000)	(4,800,000)	(300,000)	
講習会関係	8,400,000	10,000,000	△ 1,600,000	
参加費収入	(8,400,000)	(10,000,000)	(△ 1,600,000)	4回開催
小規模講習会関係	60,000	0	60,000	
参加費収入	(60,000)	(0)	(60,000)	1回開催
必修講習会関係	17,028,000	18,427,600	△ 1,399,600	
参加費収入	(5,940,000)	(5,775,000)	(165,000)	
資料頒布収入	(11,088,000)	(12,652,600)	(△ 1,564,600)	e-learning
用語診断基準委員会	20,000	0	20,000	
著作権印税	(20,000)	(0)	(20,000)	
専門医制度委員会	12,593,950	11,512,100	1,081,850	
試験・新規認定収入	(4,799,500)	(5,165,500)	(△ 366,000)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(6,420,000)	(3,535,000)	(2,885,000)	
資料頒布収入	(1,374,450)	(2,811,600)	(△ 1,437,150)	専門医認定試験問題集
工学フェロー認定審査委員会	52,500	145,000	△ 92,500	
新規認定収入	(25,000)	(20,000)	(5,000)	
更新認定収入	(27,500)	(125,000)	(△ 97,500)	
検査士制度委員会	68,782,000	70,769,000	△ 1,987,000	
試験・新規認定収入	(46,875,000)	(44,470,000)	(2,405,000)	試験受験料・認定料
更新認定収入	(21,421,000)	(25,819,000)	(△ 4,398,000)	└(指導検査士含む)
著作権・印税収入	(486,000)	(480,000)	(6,000)	検査士認定試験問題集印税
特定資産運用収入	340,826	229,121	111,705	
受取利息	670,000	83,000	587,000	基金分は除く
雑収入	4,000	4,000	0	在外会員手数料
事業活動収入計　(A)	517,164,197	544,078,221	△ 26,914,024	
2．事業活動支出				
事業費				
学術集会関係	154,755,158	228,630,983	△ 73,875,825	99回：東京
臨時雇い賃金	(5,654,935)	(12,625,661)	(△ 6,970,726)	
会計顧問料	(550,000)	(1,100,000)	(△ 550,000)	
文具消耗品費	(1,352,294)	(566,500)	(785,794)	
会場・会議費	(98,453,925)	(88,772,615)	(9,681,310)	市民公開講座分を除く
印刷費	(6,218,009)	(13,510,255)	(△ 7,292,246)	市民公開講座分を除く
通信・運搬費	(250,000)	(556,420)	(△ 306,420)	
旅費交通費	(3,620,000)	(16,579,420)	(△ 12,959,420)	
支払手数料	(4,217,200)	(3,819,000)	(398,200)	
システム運営費	(3,641,000)	(15,077,700)	(△ 11,436,700)	
業務委託費	(22,763,565)	(40,480,080)	(△ 17,716,515)	市民公開講座分を除く
各種賞金	(500,000)	(1,100,000)	(△ 600,000)	
関連行事費	(6,300,000)	(16,638,050)	(△ 10,338,050)	
諸謝金	(1,034,230)	(4,590,000)	(△ 3,555,770)	
雑費	(200,000)	(13,215,282)	(△ 13,015,282)	

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　　減	備　　考
学術集会(本部)・委員会	3,265,874	6,283,579	△ 3,017,705	
会場・会議費	(355,640)	(52,400)	(303,240)	
会場・会議費	(312,664)	(1,206,920)	(△ 894,256)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
印刷費	(0)	(441,540)	(△ 441,540)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
通信・運搬費	(70,000)	(83,000)	(△ 13,000)	
通信・運搬費	(0)	(11,000)	(△ 11,000)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
旅費交通費	(216,000)	(714,300)	(△ 498,300)	
旅費交通費	(70,000)	(0)	(70,000)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
システム運営費	(200,000)	(200,000)	(0)	
システム運営費	(0)	(55,000)	(△ 55,000)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
業務委託費	(1,373,350)	(3,519,419)	(△ 2,146,069)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
諸謝金	(668,220)	(0)	(668,220)	市民公開講座(前年度特定費用準備資金)
地方会・地方会学術集会関係	72,348,900	74,743,400	△ 2,394,500	
臨時雇い賃金	(8,035,500)	(4,710,000)	(3,325,500)	
文具消耗品費	(1,298,500)	(1,802,200)	(△ 503,700)	
会場・会議費	(24,849,717)	(15,209,390)	(9,640,327)	
印刷費	(7,933,400)	(7,301,000)	(632,400)	
通信・運搬費	(1,511,150)	(1,224,150)	(287,000)	
旅費交通費	(2,235,850)	(2,005,000)	(230,850)	
支払手数料	(338,000)	(488,200)	(△ 150,200)	
システム運営費	(1,016,000)	(980,000)	(36,000)	
業務委託費	(22,122,783)	(37,333,460)	(△ 15,210,677)	
各種賞金	(598,000)	(1,050,000)	(△ 452,000)	
関連行事費	(150,000)	(100,000)	(50,000)	
諸謝金	(2,260,000)	(2,540,000)	(△ 280,000)	
地方会(本部)・委員会	1,767,180	3,494,180	△ 1,727,000	
会場・会議費	(69,680)	(69,680)	(0)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
システム運営費	(1,687,500)	(3,414,500)	(△ 1,727,000)	
編集委員会	49,140,300	48,031,600	1,108,700	
学会誌出版費	(35,418,800)	(35,175,800)	(243,000)	OpenAccess費用を含む
発送経費	(5,953,800)	(5,953,800)	(0)	
校正費	(6,220,000)	(6,020,000)	(200,000)	
諸謝金	(500,000)	(500,000)	(0)	
システム運営費	(1,047,700)	(382,000)	(665,700)	
研究開発促進委員会	185,692	185,692	0	
文具消耗品費	(1,500)	(1,500)	(0)	
会場・会議費	(24,192)	(24,192)	(0)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	(150,000)	(0)	
研究会関係	1,350,000	1,050,000	300,000	研究会設置費(3研究会)
文具消耗品費	(150,000)	(150,000)	(0)	
会場・会議費	(690,000)	(560,000)	(130,000)	
印刷費	(100,000)	(50,000)	(50,000)	
通信・運搬費	(100,000)	(40,000)	(60,000)	
旅費交通費	(250,000)	(200,000)	(50,000)	
システム運営費	(10,000)	(0)	(10,000)	
諸謝金	(50,000)	(50,000)	(0)	
顕彰委員会	5,605,900	6,220,720	△ 614,820	
各種賞金	(4,600,000)	(5,200,000)	(△ 600,000)	
会場・会議費	(203,200)	(203,200)	(0)	
印刷費	(54,000)	(111,320)	(△ 57,320)	
通信・運搬費	(30,000)	(30,000)	(0)	
旅費交通費	(526,200)	(676,200)	(△ 150,000)	
システム運営費	(192,500)	(0)	(192,500)	
用語・診断基準委員会	2,765,880	2,122,260	643,620	
校正費	(0)	(300,000)	(△ 300,000)	
会費・分担金	(310,000)	(310,000)	(0)	日本乳がん検診精度管理中央機構
会場・会議費	(100,000)	(400,360)	(△ 300,360)	
通信・運搬費	(0)	(3,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(563,880)	(195,900)	(367,980)	
システム運営費	(1,792,000)	(913,000)	(879,000)	
機器及び標準化に関する委員会	5,813,582	11,606,426	△ 5,792,844	
文具消耗品費	(50,000)	(50,000)	(0)	
会場・会議費	(94,432)	(93,696)	(736)	
印刷費	(4,000,000)	(10,000,000)	(△ 6,000,000)	
旅費交通費	(1,609,150)	(1,462,730)	(146,420)	
諸謝金	(60,000)	(0)	(60,000)	
安全委員会	312,312	516,241	△ 203,929	
会費・分担金	(200,000)	(200,000)	(0)	日本医療安全調査機構
会場・会議費	(48,512)	(50,456)	(△ 1,944)	
旅費交通費	(63,800)	(265,785)	(△ 201,985)	
教育委員会	50,240	1,054,320	△ 1,004,080	
会場・会議費	(50,240)	(80,480)	(△ 30,240)	
通信・運搬費	(0)	(3,000)	(△ 3,000)	
旅費交通費	(0)	(970,840)	(△ 970,840)	

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　　減	備　　考
教育セッション関係	4,685,114	4,404,745	280,369	
システム運営費	(0)	(1,122,880)	(△ 1,122,880)	
業務委託費	(2,991,894)	(1,827,056)	(1,164,838)	
諸謝金	(693,220)	(784,809)	(△ 91,589)	講師旅費を含む
印刷費	(1,000,000)	(650,000)	(350,000)	
通信・運搬費	(0)	(20,000)	(△ 20,000)	
講習会関係	16,056,040	13,644,040	2,412,000	4回開催
システム運営費	(1,078,000)	(1,078,000)	(0)	
業務委託費	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
諸謝金	(4,336,440)	(3,336,440)	(1,000,000)	講師旅費を含む
文具消耗品費	(150,000)	(0)	(150,000)	
会場・会議費	(5,529,600)	(5,529,600)	(0)	
印刷費	(800,000)	(800,000)	(0)	
通信・運搬費	(100,000)	(100,000)	(0)	
旅費交通費	(2,062,000)	(800,000)	(1,262,000)	
小規模講習会関係	1,976,866	0	1,976,866	
諸謝金	(1,148,466)	(0)	(1,148,466)	
臨時雇い賃金	(80,000)	(0)	(80,000)	
会場・会議費	(532,400)	(0)	(532,400)	
印刷費	(50,000)	(0)	(50,000)	
通信・運搬費	(6,000)	(0)	(6,000)	
旅費交通費	(160,000)	(0)	(160,000)	
必修講習会	5,376,713	5,032,200	344,513	
業務委託費	(2,355,583)	(3,340,000)	(△ 984,417)	
諸謝金	(140,000)	(182,000)	(△ 42,000)	講師旅費を含む
会場・会議費	(1,455,630)	(0)	(1,455,630)	
印刷費	(480,000)	(876,000)	(△ 396,000)	e-learningシステム、テキスト含む
通信・運搬費	(311,300)	(0)	(311,300)	
支払手数料	(634,200)	(634,200)	(0)	
国際交流委員会	3,884,844	5,171,634	△ 1,286,790	
奨学金	(0)	(1,200,000)	(△ 1,200,000)	0名
会費・分担金	(3,710,212)	(3,737,002)	(△ 26,790)	AFSUMB分担金
諸謝金	(0)	(60,000)	(△ 60,000)	
会場・会議費	(16,632)	(16,632)	(0)	
通信・運搬費	(10,000)	(10,000)	(0)	
旅費交通費	(148,000)	(148,000)	(0)	
広報委員会	11,711,450	11,395,500	315,950	
システム運営費	(6,088,250)	(651,500)	(5,436,750)	
システム運営費	(0)	(5,805,000)	(△ 5,805,000)	※特定費用準備資金
業務委託費	(4,884,000)	(0)	(4,884,000)	
業務委託費	(0)	(4,939,000)	(△ 4,939,000)	※特定費用準備資金
諸謝金	(739,200)	(0)	(739,200)	
超音波画像のデータベース構築・利活用推進委員会	17,532,000	29,117,450	△ 11,585,450	
システム運営費	(0)	(10,636,000)	(△ 10,636,000)	※特定費用準備資金
文具消耗品費	(50,000)	(0)	(50,000)	
文具消耗品費	(0)	(50,000)	(△ 50,000)	※特定費用準備資金
会場・会議費	(0)	(120,000)	(△ 120,000)	※特定費用準備資金
旅費交通費	(1,200,000)	(0)	(1,200,000)	
旅費交通費	(0)	(1,050,000)	(△ 1,050,000)	※特定費用準備資金
業務委託費	(14,082,000)	(0)	(14,082,000)	
業務委託費	(0)	(16,033,450)	(△ 16,033,450)	※特定費用準備資金
諸謝金	(2,200,000)	(0)	(2,200,000)	
諸謝金	(0)	(1,228,000)	(△ 1,228,000)	※特定費用準備資金
専門医制度委員会	11,054,348	9,259,411	1,794,937	
頒布資料印刷費	(2,653,200)	(0)	(2,653,200)	専門医認定試験問題集(増刷)
システム運営費	(2,365,000)	(3,586,000)	(△ 1,221,000)	
業務委託費	(175,000)	(175,000)	(0)	
諸謝金	(1,047,000)	(897,000)	(150,000)	
臨時雇い賃金	(718,080)	(718,080)	(0)	
会場・会議費	(1,236,400)	(1,236,400)	(0)	
印刷費	(564,300)	(711,150)	(△ 146,850)	
通信・運搬費	(760,227)	(631,760)	(128,467)	
旅費交通費	(1,304,021)	(1,304,021)	(0)	
支払手数料	(231,120)	(0)	(231,120)	
工学フェロー認定審査委員会	30,030	77,390	△ 47,360	
会場・会議費	(4,400)	(4,400)	(0)	
印刷費	(0)	(31,350)	(△ 31,350)	
通信・運搬費	(8,530)	(24,540)	(△ 16,010)	
旅費交通費	(17,100)	(17,100)	(0)	

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　　減	備　　考
検査士制度委員会	27,134,230	25,307,636	1,826,594	
システム運営費	(570,000)	(450,000)	(120,000)	
業務委託費	(2,020,000)	(1,120,000)	(900,000)	
諸謝金	(2,880,000)	(2,652,500)	(227,500)	
臨時雇い賃金	(2,048,560)	(2,030,560)	(18,000)	
文具消耗品費	(200,000)	(70,000)	(130,000)	
会場・会議費	(8,431,303)	(8,187,848)	(243,455)	
印刷費	(3,085,500)	(3,184,700)	(△ 99,200)	
通信・運搬費	(4,295,735)	(4,024,928)	(270,807)	
旅費交通費	(1,576,000)	(1,957,780)	(△ 381,780)	
支払手数料	(1,947,132)	(1,579,320)	(367,812)	
雑費	(80,000)	(50,000)	(30,000)	
在り方検討委員会	69,724	69,724	0	
会場・会議費	(7,344)	(7,344)	(0)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	
旅費交通費	(59,380)	(59,380)	(0)	
キャリア支援・ダイバーシティー推進委員会	1,369,466	225,580	1,143,886	
業務委託費	(1,022,886)	(0)	(1,022,886)	
会場・会議費	(95,080)	(95,080)	(0)	
印刷費	(80,000)	(100,000)	(△ 20,000)	
通信・運搬費	(21,500)	(30,500)	(△ 9,000)	
システム運営費	(150,000)	(0)	(150,000)	
災害対策委員会	44,060	44,060	0	
会場・会議費	(41,060)	(41,060)	(0)	
通信・運搬費	(3,000)	(3,000)	(0)	
事業費計	398,285,903	487,688,771	△ 89,402,868	
管理費				
給与手当	64,280,000	60,000,000	4,280,000	
会計顧問料	880,000	880,000	0	
福利厚生費	570,000	570,000	0	
法定福利費	10,500,000	10,500,000	0	
職員交通費	2,592,420	1,672,500	919,920	
事務所賃借料	23,731,000	20,770,600	2,960,400	
事務用機器賃借料	974,160	820,000	154,160	
備品費	400,000	500,000	△ 100,000	
文具消耗品費	380,000	380,000	0	
光熱水料	1,450,000	1,400,000	50,000	
事務OA化費	2,500,000	3,000,000	△ 500,000	
会場・会議費	2,500,000	350,000	2,150,000	
印刷費	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
通信・運搬費	4,500,000	3,450,000	1,050,000	
旅費交通費	1,000,000	1,300,000	△ 300,000	理事会等
各種保険料	320,000	308,000	12,000	役員賠償責任保険・火災保険ほか
租税公課	7,100,000	7,100,000	0	
支払手数料	2,700,000	3,500,000	△ 800,000	
システム運営費	350,000	3,400,000	△ 3,050,000	
会費・分担金	450,000	450,000	0	日本医学会、公益法人協会ほか
業務委託費	897,600	897,600	0	
雑費	450,000	500,000	△ 50,000	
保険委員会	652,540	652,540	0	
会費・分担金	(600,000)	(600,000)	(0)	内保連、外保連
会場・会議費	(47,540)	(20,000)	(27,540)	
通信・運搬費	(5,000)	(5,000)	(0)	
旅費交通費	(0)	(27,540)	(△ 27,540)	
選挙関係	198,000	0	198,000	
システム運営費	(198,000)	(0)	(198,000)	
管理費計	130,375,720	123,501,240	6,874,480	
事業活動支出計　**(B)**	528,661,623	611,190,011	△ 82,528,388	
事業活動収支差額　**(C)**=(A)−(B)	△ 11,497,426	△ 67,111,790	55,614,364	

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　　減	備　　考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	900,000	67,400,000	△ 66,500,000	
伊東賞基金取崩収入	(600,000)	(600,000)	(0)	
工藤賞基金取崩収入	(300,000)	(300,000)	(0)	※指定正味財産
超音波医学啓発準備資金取崩収入	(0)	(10,000,000)	(△ 10,000,000)	※特定費用準備資金
データベース整備資金取崩収入	(0)	(12,000,000)	(△ 12,000,000)	※特定費用準備資金
学術集会準備資金取崩収入	(0)	(44,500,000)	(△ 44,500,000)	※特定費用準備資金
投資活動収入計 **(D)**	900,000	67,400,000	△ 66,500,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	6,000,000	6,000,000	0	
退職給付引当預金支出	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)	
投資活動支出計 **(E)**	6,000,000	6,000,000	0	
投資活動収支差額 **(F)**=(D)−(E)	△ 5,100,000	61,400,000	△ 66,500,000	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 **(G)**	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 **(H)**	0	0	0	
財務活動収支差額 **(J)**=(G)−(H)	0	0	0	
当期収支差額 **(K)**=(C)+(F)+(J)	△ 16,597,426	△ 5,711,790	△ 10,885,636	
前期繰越収支差額 **(L)**	277,066,173	214,367,134	62,699,039	
次期繰越収支差額 (K)+(L)	260,468,747	208,655,344	51,813,403	

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計小計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業				
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	99,000	0	99,000
特定資産運用収入	340,826	0	0	0	0	0	340,826
入会金収入	525,000	0	0	0	525,000	0	1,050,000
会費収入	89,042,500	0	0	0	89,042,500	0	178,085,000
参加費収入	160,917,000	0	0	0	0	0	160,917,000
共催セミナー収入ほか	71,470,000	0	0	0	0	0	71,470,000
広告収入	7,025,000	0	0	0	0	0	7,025,000
試験・新規認定収入	0	51,699,500	0	51,699,500	0	0	51,699,500
更新認定収入	0	27,868,500	0	27,868,500	0	0	27,868,500
学会誌別刷収入	15,000	0	0	0	0	0	15,000
資料頒布収入	12,742,350	0	0	0	0	0	12,742,350
著作権・印税収入	2,618,021	0	0	0	0	0	2,618,021
寄付金収入	2,560,000	0	0	0	0	0	2,560,000
・指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
補助金・助成金収入	0	0	0	0	0	0	0
受取利息収入	0	0	0	0	670,000	0	670,000
雑収入	0	0	0	0	4,000	0	4,000
経常収益計	347,555,697	79,568,000	0	79,568,000	90,340,500	0	517,464,197
(2)経常費用							
事業費							
学会誌出版費	35,418,800	0	0	0			35,418,800
発送経費	5,953,800	0	0	0			5,953,800
校正費	6,220,000	0	0	0			6,220,000
表彰関係費	5,698,000	0	0	0			5,698,000
奨学金	0	0	0	0			0
給与手当	27,695,088	10,606,630	1,473,144	12,079,774			39,774,862
臨時雇い賃金	13,770,435	2,766,640	0	2,766,640			16,537,075
会計顧問料	550,000	0	0	0			550,000
法定福利費	4,935,000	1,890,000	262,500	2,152,500			7,087,500
職員交通費	1,218,435	466,637	64,810	531,447			1,749,882
事務所賃借料	11,153,570	4,271,580	593,275	4,864,855			16,018,425
文具消耗品費	3,052,294	200,000	0	200,000			3,252,294
光熱水料	681,500	261,000	36,250	297,250			978,750
会場・会議費	132,786,464	9,672,103	143,484	9,815,587			142,602,051
印刷費	20,635,409	3,649,800	80,000	3,729,800			24,365,209
通信・運搬費	4,523,450	5,874,492	140,000	6,014,492			10,537,942
旅費・交通費	12,874,880	2,897,121	59,380	2,956,501			15,831,381
支払手数料	5,189,400	2,178,252	0	2,178,252			7,367,652
システム運営費	16,752,950	2,935,000	150,000	3,085,000			19,837,950
租税公課	3,443,500	1,242,500	0	1,242,500			4,686,000
業務委託費	72,573,175	2,195,000	1,022,886	3,217,886			75,791,061
雑費	200,000	80,000	0	80,000			280,000
会費・分担金	4,220,212	0	0	0			4,220,212
関連行事費	6,450,000	0	0	0			6,450,000
諸謝金	13,829,776	3,927,000	0	3,927,000			17,756,776
賞与引当金繰入額	2,516,512	963,770	133,856	1,097,626			3,614,138
退職給付費用	2,132,149	816,569	113,411	929,980			3,062,129
減価償却費	283,163	976,248	0	976,248			1,259,411
事業費計	417,411,162	57,870,342	4,272,996	62,143,338	0	0	479,554,500
管理費							
給与手当	0			0	19,150,857		19,150,857
会計顧問料	0			0	880,000		880,000
福利厚生費	0			0	570,000		570,000
法定福利費	0			0	3,412,500		3,412,500
職員交通費	0			0	842,538		842,538
事務所賃借料	0			0	7,712,575		7,712,575
事務用機器賃借料	0			0	974,160		974,160
備品費	0			0	400,000		400,000
文具消耗品費	0			0	380,000		380,000
光熱水料	0			0	471,250		471,250
事務OA化費	0			0	2,500,000		2,500,000
会場・会議費	0			0	2,547,540		2,547,540
印刷費	0			0	1,000,000		1,000,000
通信・運搬費	0			0	1,467,500		1,467,500
旅費交通費	0			0	1,000,000		1,000,000
租税公課	0			0	2,414,000		2,414,000
支払手数料	0			0	2,700,000		2,700,000
システム運営費	0			0	548,000		548,000
会費・分担金	0			0	1,050,000		1,050,000
保険料	0			0	320,000		320,000
業務委託費	0			0	897,600		897,600
雑費	0			0	450,000		450,000
賞与引当金繰入額	0			0	1,740,143		1,740,143
退職給付費用	0			0	1,474,361		1,474,361
減価償却費	0			0	0		0
管理費計	0			0	54,903,024	0	54,903,024
経常費用計	417,411,162	57,870,342	4,272,996	62,143,338	54,903,024	0	534,457,524
当期経常増減額	△ 69,855,465	21,697,658	△ 4,272,996	17,424,662	35,437,476		△ 16,993,327
2.経常外増減の部	0						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 69,855,465	21,697,658	△ 4,272,996	17,424,662	35,437,476	0	△ 16,993,327
一般正味財産期首残高	184,485,489	61,009,930	380,964	61,390,894	222,568,832		468,445,215
一般正味財産期末残高	114,630,024			78,815,556	258,006,308		451,451,888
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替							
受取交付金	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	4,800,000	0	0	0	0	0	4,800,000
指定正味財産期末残高	4,500,000			0	0	0	4,500,000
Ⅲ 正味財産期末残高	119,130,024			78,815,556	258,006,308		455,951,888

公益社団法人収支予算内訳書(損益計算ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計		収益事業等会計小計	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	資格認定事業	会員相互補助事業				
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
1.経常増減の部							
(1)経常収益							
基本財産運用収入	0	0	0	0	99,000	0	99,000
特定資産運用収入	340,826	0	0	0	0	0	340,826
入会金収入	525,000	0	0	0	525,000	0	1,050,000
会費収入	89,042,500	0	0	0	89,042,500	0	178,085,000
参加費収入	160,917,000	0	0	0	0	0	160,917,000
共催セミナー収入ほか	71,470,000	0	0	0	0	0	71,470,000
広告収入	7,025,000	0	0	0	0	0	7,025,000
試験・新規認定収入	0	51,699,500	0	51,699,500	0	0	51,699,500
更新認定収入	0	27,868,500	0	27,868,500	0	0	27,868,500
学会誌別刷収入	15,000	0	0	0	0	0	15,000
資料頒布収入	12,742,350	0	0	0	0	0	12,742,350
著作権・印税収入	2,618,021	0	0	0	0	0	2,618,021
寄付金収入	2,560,000	0	0	0	0	0	2,560,000
・指定正味財産からの振替	300,000	0	0	0	0	0	300,000
補助金・助成金収入	0	0	0	0	0	0	0
受取利息収入	0	0	0	0	670,000	0	670,000
雑収入	0	0	0	0	4,000	0	4,000
経常収益計	347,555,697	79,568,000	0	79,568,000	90,340,500	0	517,464,197
(2)経常費用							
事業費							
学会誌出版費	35,418,800	0	0	0			35,418,800
発送経費	5,953,800	0	0	0			5,953,800
校正費	6,220,000	0	0	0			6,220,000
表彰関係費	5,698,000	0	0	0			5,698,000
奨学金	0	0	0	0			0
給与手当	27,695,088	10,606,630	1,473,144	12,079,774			39,774,862
臨時雇い賃金	13,770,435	2,766,640	0	2,766,640			16,537,075
会計顧問料	550,000	0	0	0			550,000
法定福利費	4,935,000	1,890,000	262,500	2,152,500			7,087,500
職員交通費	1,218,435	466,637	64,810	531,447			1,749,882
事務所賃借料	11,153,570	4,271,580	593,275	4,864,855			16,018,425
文具消耗品費	3,052,294	200,000	0	200,000			3,252,294
光熱水料	681,500	261,000	36,250	297,250			978,750
会場・会議費	132,786,464	9,672,103	143,484	9,815,587			142,602,051
印刷費	20,635,409	3,649,800	80,000	3,729,800			24,365,209
通信・運搬費	4,523,450	5,874,492	140,000	6,014,492			10,537,942
旅費・交通費	12,874,880	2,897,121	59,380	2,956,501			15,831,381
支払手数料	5,189,400	2,178,252	0	2,178,252			7,367,652
システム運営費	16,752,950	2,935,000	150,000	3,085,000			19,837,950
租税公課	3,443,500	1,242,500	0	1,242,500			4,686,000
業務委託費	72,573,175	2,195,000	1,022,886	3,217,886			75,791,061
雑費	200,000	80,000	0	80,000			280,000
会費・分担金	4,220,212	0	0	0			4,220,212
関連行事費	6,450,000	0	0	0			6,450,000
諸謝金	13,829,776	3,927,000	0	3,927,000			17,756,776
賞与引当金繰入額	2,516,512	963,770	133,856	1,097,626			3,614,138
退職給付費用	2,132,149	816,569	113,411	929,980			3,062,129
減価償却費	283,163	976,248	0	976,248			1,259,411
事業費計	417,411,162	57,870,342	4,272,996	62,143,338	0	0	479,554,500
管理費							
給与手当	0			0	19,150,857		19,150,857
会計顧問料	0			0	880,000		880,000
福利厚生費	0			0	570,000		570,000
法定福利費	0			0	3,412,500		3,412,500
職員交通費	0			0	842,538		842,538
事務所賃借料	0			0	7,712,575		7,712,575
事務用機器賃借料	0			0	974,160		974,160
備品費	0			0	400,000		400,000
文具消耗品費	0			0	380,000		380,000
光熱水料	0			0	471,250		471,250
事務OA化費	0			0	2,500,000		2,500,000
会場・会議費	0			0	2,547,540		2,547,540
印刷費	0			0	1,000,000		1,000,000
通信・運搬費	0			0	1,467,500		1,467,500
旅費交通費	0			0	1,000,000		1,000,000
租税公課	0			0	2,414,000		2,414,000
支払手数料	0			0	2,700,000		2,700,000
システム運営費	0			0	548,000		548,000
会費・分担金	0			0	1,050,000		1,050,000
保険料	0			0	320,000		320,000
業務委託費	0			0	897,600		897,600
雑費	0			0	450,000		450,000
賞与引当金繰入額	0			0	1,740,143		1,740,143
退職給付費用	0			0	1,474,361		1,474,361
減価償却費	0			0	0		0
管理費計	0			0	54,903,024	0	54,903,024
経常費用計	417,411,162	57,870,342	4,272,996	62,143,338	54,903,024	0	534,457,524
当期経常増減額	△ 69,855,465	21,697,658	△ 4,272,996	17,424,662	35,437,476		△ 16,993,327
2.経常外増減の部	0						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 69,855,465	21,697,658	△ 4,272,996	17,424,662	35,437,476	0	△ 16,993,327
一般正味財産期首残高	184,485,489	61,009,930	380,964	61,390,894	222,568,832	0	468,445,215
一般正味財産期末残高	114,630,024	82,707,588	△ 3,892,032	78,815,556	258,006,308	0	451,451,888
Ⅱ 指定正味財産増減の部							
受取交付金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産へ振替							
受取交付金	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	(300,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300,000)
当期指定正味財産増減額	△ 300,000	0	0	0	0	0	△ 300,000
指定正味財産期首残高	4,800,000	0	0	0	0	0	4,800,000
指定正味財産期末残高	4,500,000	0	0	0	0	0	4,500,000
Ⅲ 正味財産期末残高	119,130,024	82,707,588	△ 3,892,032	78,815,556	258,006,308		455,951,888

公益社団法人日本超音波医学会

令和8年度　資金調達及び設備投資の見込みについて

１．資金調達の見込みについて
　　当年度における借り入れの予定　・・・　なし
２．設備投資の見込みについて
　　当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定　・・・　なし

(資料６)

令和8･9年度公益社団法人日本超音波医学会
理事候補者及び監事候補者

（自 令和８年５月30日　　至 令和10年度定時総会開催日）

理事候補者

本会役員代議員選任規則第２条第３項に則り、就任後最初に訪れる任期満了に伴う理事候補者については、投票や指名によらない選出ができることから、以下令和６･７年度理事20名を理事候補者とした。

赤 坂 和 美　医　師　釧路孝仁会記念病院循環器内科
荒 川 元 孝　理工学　東北大学医工学研究科
石 津 智 子　医　師　筑波大学循環器内科
市 塚 清 健　医　師　昭和大学横浜市北部病院産婦人科
小 川 眞 広　医　師　日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野
尾本きよか　医　師　自治医科大学附属さいたま医療センター総合医学第１講座（臨床検査部）
北 野 雅 之　医　師　和歌山県立医科大学第二内科
黒 田 英 克　医　師　岩手医科大学附属病院内科学講座消化器内科分野
陣 崎 雅 弘　医　師　慶應義塾大学医学部放射線科学（診断）
瀬 尾 由 広　医　師　名古屋市立大学大学院医学研究科循環器内科学
大 門 雅 夫　医　師　国際医療福祉大学三田病院循環器内科
中 田 雅 彦　医　師　東邦大学医学部産科婦人科学講座
西 田　　睦　医師・理工学関係者以外　北海道大学病院経営戦略部
新 田 尚 隆　理工学　産業技術総合研究所健康医工学研究部門
長谷川英之　理工学　富山大学学術研究部工学系
濱 口 浩 敏　医　師　北播磨総合医療センター脳神経内科
丸 山 紀 史　医　師　順天堂大学消化器画像診断・治療学
村 田 光 繁　医　師　東海大学医学部付属八王子病院臨床検査学
山 口　　匡　理工学　千葉大学フロンティア医工学センター
渡 邉　　望　医　師　宮崎大学医学部機能制御学講座循環動態生理学分野

以上20名

理事補充候補者

理事に欠員が生じたため、本会役員代議員選任規則第５条に則り、補欠人数が充分でない場合には、現理事会が補欠理事選考ワーキンググループを立ち上げ、補欠候補者を選定できることから、補欠理事選考ワーキンググループからの推薦で、以下４名を理事補充候補者とする。

泉　　知 里　医　師　国立循環器病研究センター心臓血管内科

（推薦理由）

循環器超音波医学領域の臨床・研究の両面で活躍されている。日本循環器学会や日本心エコー図学会において指導的地位にあり、前回の理事選の得票数が上位であった点も考慮される。また、ダイバーシティの観点からも女性理事として活躍が望まれることから推薦する。

打田佐和子　医　師　大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学

（推薦理由）

平成26年度からから現在に至るまで本学会の代議員であり、平成30年度から令和２年度男女共同参画委員会委員、利益相反委員会委員としての実績がある。前回の理事選の得票数が上位であった点も考慮される。また、ダイバーシティの観点からも女性理事として活躍が望まれることから推薦する。

志 村 浩 己　医　師　福島県立医科大学臨床検査医学講座

（推薦理由）

甲状腺超音波検査に造詣が深く、本会東北地方会運営委員長、日本甲状腺学会理事、日本乳腺甲状腺医学会(JABTS)理事として活躍されていることから推薦する。

瀧 聞 浄 宏　医　師　長野県立こども病院循環器小児科

（推薦理由）

小児循環器領域の専門家であり、特に心臓超音波検査では指導的立場にある。小児科では診療に超音波検査が多用されているが、本学会の正会員に小児科を専門とする医師は少数しかいなく、今後の小児科領域での本学会の発展に寄与できる人材と考えて推薦する。前回の理事選の得票数が上位であった点も考慮される。

以上５名

外部理事候補者

本会役員代議員選任規則第２条第３項に則り、現理事会の決議により指名した以下１名を外部理事候補者とする。

鈴 木 雄 介　（鈴木法律事務所）

（推薦理由）

医師資格、及び弁護士資格を取得しており、現在は法律事務所を開設して、厚生労働省[医療事故調査制度の施行に係る検討会]構成員、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク理事の経験がある。公益社団法人の法律面に関して知識が豊富であることから推薦する。

以上１名

監事候補者

本会役員代議員選任規則第３条に則り、代議員の投票によって選出した、以下２名を監事候補者とする。

菊 池 昭 彦　埼玉医科大学総合医療センター産婦人科・総合周産期母子医療センター母体胎児部門

日 浅 陽 一　愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

以上２名

外部監事候補者

本会役員代議員選任規則第３条第２項に則り、現理事会の決議により指名した以下１名を外部監事候補者とする。

平 木 隆 夫　（岡山大学学術研究院医歯薬学域放射線医学）

（推薦理由）

日本医学放射線学会の理事であり、同学会から推薦いただいた。放射線医学の分野で活躍されているが、超音波検査にも精通している。

以上１名

(資料７)

会費滞納による会員資格喪失者

（令和８年３月31日）

202名

内訳　　正 会 員　　109名

シニア会員　　26名

準 会 員　　67名

学生会員　　0名

賛助会員　　0社

(資料８)

4

公益社団法人日本超音波医学会会員の種別，入退会，会費等の取扱い規則(案)

(平成25年４月１日制定)
(平成25年４月19日改正)
(平成26年５月10日改正)
(平成27年８月７日改正)
(平成27年10月９日改正)
(平成28年４月１日改正)
(令和６年６月１日改正)
(令和８年５月30日改正)

(目　的)
第１条　会員の種別，入退会，会費等の取扱いは，定款第３章に定めるもののほか，この規則による．
(会員の種別の変更等)
第２条　定款第５条第１項第４号で規定する学生会員だった者が正会員，シニア会員又は準会員の資格に達し，会員継続の意志がある場合は，正会員，シニア会員もしくは準会員に種別変更手続きを行わなければならない．
２　学生会員で，資格を失った者は退会とする．
第３条　定款第５条第１項第５号で規定する賛助会員のうち，５口以上の会費を納入する者は，理事会の承認により，特別賛助会員と称することができる．
(入　会)
第４条　本学会の正会員，シニア会員，準会員，学生会員及び賛助会員になろうとする者は，所定の入会申込手続きを行い，入会金及び当該年度の会費を添えて，理事長に提出しなければならない．
２　入会金は，次のとおりとする．ただし，賛助会員については，入会金を納めることを要しない．
一　正 会 員　　2,000円
二　シニア会員　2,000円
三　準 会 員　　~~1,500円~~1,000円
四　学生会員　　1,000円
３　入会の承認は，会員資格審査担当理事の議を経て，理事会において行う．
４　理事会が入会を承認しなかったときは，入会申込手続きに添えて提出された入会金及び当該年度の会費は，これを返還する．
５　理事会は，入会時期，財政状況等により入会金，及び初年度の年会費を免除，もしくは年会費額を減額することができる．
なお，再入会の場合はこれに該当しない．
(退　会)
第５条　会員が退会しようとするときは，退会届を理事長に提出しなければならない．
２　会費を滞納中の会員が退会しようとする場合，滞納中の会費を納入する．
(会費の納入)
第６条　会費(会誌購読料を含む)は，毎年度分(４月から翌年３月まで)を当該年度の５月末日までに納入しなければならない．
第７条　会員の種別の変更を希望する者は，種別変更届けを理事長宛に提出し，会員資格審査担当理事の議を経て，理事会の承認を得なければならない．ただし，種別の変更は新年度開始日とし，変更後の会費を適応する．
第８条　会費の滞納が５か月以上に及ぶときは，会費を納入した場合でも，滞納期間中の会誌は配布を受けられない．
(在外の会員)
第９条　在外の会員は，郵送料等の必要経費を，会費と別に納入しなければならない．納入金額は，理事会がこれを定める．
(改　廃)
第10条　この規則の改廃は，規約担当理事の発議により，理事会の決議を得なければならない．
２　第４条第２項の変更は，理事会及び総会の決議を得なければならない．

附　則
この規則は，一般社団法人の設立の登記の日から適用する．
附　則
この規則の改正は，平成25年４月19日から施行し，平成25年４月１日から適用する．
附　則
この規則の改正は，平成26年５月10日から施行する．
附　則
１　この規則の改正は平成27年８月８日から施行する．
２　会費滞納の理由により平成27年３月31日に会員資格を喪失した会員について，平成27年度内に再入会の意向が確認された場合は，27年度の会費と滞納期間中の会費納入をもって超音波専門医、超音波指導医，超音波検査士，超音波検査士指導医及び超音波工学フェローに関しては会員資格が継続しているものとみなし，また，入会申込手続きについては再度行うことを要しないものとする．
附　則
この規則の第４条以外の改正は平成27年８月８日から施行し，第４条の改正は，平成27年10月10日から施行するものとし，ともに遡って平成27年５月24日から適用する．

附　則
この規則の改正は，平成28年４月１日から施行する．
附　則
この規則の改正は，令和６年６月１日改正から施行，令和６年４月１日から適用する．
附　則
この規則の改正は，令和８年５月30日から施行する．

（改正事由）
・令和７年度第３回理事会において準会員の入会金を令和８年４月より現行の1,500円から1,000円に値下げすることとしたため。

(資料９)

名　誉　会　員　推　薦

本学会名誉会員規則第４条に照らし、以下の方を推薦する。

アキヤマイ　ワ　キ
１.秋山いわき　氏

ヒロオカヨ　シ　キ
２.廣岡芳樹　氏

３.George Condous　氏

功　労　会　員　推　薦

本学会功労会員規則第４条に照らし、以下の方を推薦する。

ニシカﾞミカズﾞヒロ
１.西上和宏　氏

オオモリコウシﾞ
２.大森浩二　氏

シラキ　カツヤ
３.白木克哉　氏

ヒラノ　　ユタカ
４.平野　豊　氏

ハタ　　ジﾞロウ
５.畠　二郎　氏

オカニワ　シンシﾞ
６.岡庭信司　氏

タナカ　　マモル
７.田中　守　氏

カワイ　ヒロヤ
８.川合宏哉　氏

ミネ　　ヨシタカ
９.嶺　喜隆　氏

フルカワマトﾞカ
10.古川まどか　氏

ヨシタﾞ　　ヒロシ
11.吉田　寛　氏

第28回特別学会賞

金 井　浩
（東北大学大学院工学研究科インフラマネージメント研究センター）

工 藤 信 樹
（北海道大学大学院情報科学研究院）

第5回工藤賞

蘆 田 玲 子
（和歌山県立医科大学第二内科）

論 文 賞

第40回菊池賞

Automated scheme of plaque classification based on segmentation in carotid ultrasound images using transformer approach （J Med Ultrasonics Vol.52,No.3）
Gakuto Hirano[1,7], Atsushi Teramoto[2], Hiroji Takai[3], Yutaka Sasaki[4], Keiko Sugimoto[1], Shoji Matsumoto[5], Kuniaki Saito[1], Hiroshi Fujita[6]
([1]Graduate School of Health Sciences, Fujita Health University, [2]Faculty of Information Engineering, Meijo University, [3]Department of Radiology, Fujita Health University Hospital, [4]Department of Clinical Laboratory, Fujita Health University Hospital, [5]Department of Comprehensive Strokology, School of Medicine, Fujita Health University, [6]Faculty of Engineering, Gifu University, [7]Canon Medical Systems Corporation)

Convolutional neural network classification of ultrasound parametric images based on echo-envelope statistics for the quantitative diagnosis of liver steatosis （J Med Ultrasonics Vol.52,No.1）
Akiho Isshiki[1], Kisako Fujiwara[2], Takayuki Kondo[2,3], Kenji Yoshida[3,4], Tadashi Yamaguchi[3,4], Shinnosuke Hirata[3,4]
([1]Department of Medical Engineering, Graduate School of Science and Engineering, Chiba University, [2]Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Chiba University, [3]Ultrasound Center, Chiba University Hospital, [4]Center for Frontier Medical Engineering, Chiba University)

第21回伊東賞

Diagnostic accuracy of ultrasound-derived fat fraction for the detection and quantification of hepatic steatosis in patients with liver biopsy （J Med Ultrasonics Vol.52,No.1）
Yoshiko Nakamura, Masashi Hirooka, Yohei Koizumi, Ryo Yano, Yusuke Imai, Takao Watanabe, Osamu Yoshida, Yoshio Tokumoto, Masanori Abe & Yoichi Hiasa
(Department of Gastroenterology and Metabology, Ehime University Graduate School of Medicine)

Usefulness of color Doppler and strain elastography adjunctive to B-mode ultrasonography in the diagnosis of non-mass abnormalities of the breast: results of the BC-07 multicenter study of 385 cases
（J Med Ultrasonics Vol.52,No.1）
Toshitaka Okuno[1], Takanori Watanabe[2], Takuhiro Yamaguchi[3], Sachiyo Konno[4], Rie Takaki[5], Ryoji Watanabe[6], Kanako Ban[7], Koichi Hirokaga[8], Masahiko Tsuruoka[9], Takako Morita[10]
([1]Department of Breast Surgery, Nishi-Kobe Medical Center, [2]Department of Breast Surgery, Sendai Medical Center, [3]Division of Biostatistics, Tohoku University Graduate School of Medicine, [4]Center of Medical Ultrasonics, Dokkyo Medical University Hospital, [5]Department of Clinical Laboratory, Hakuaikai Sagara Hospital, [6]Department of Breast Surgery, Itoshima Medical Association Hospital, [7]Department of Breast Surgery, Yotsuya Medical Cube, [8]Department of Breast Surgery, Hyogo Cancer Center, [9]Department of Radiology, Moriya Keiyu Hospital, [10]Department of Breast Surgery, Nagoya Medical Center)

第26回技術賞

受賞該当者なし

第15回新人賞

[北海道地方会]
第55回北海道地方会学術集会発表【循環器】
連続的超音波検査で診断して超音波ガイド下に子宮内バルンタンポナーデしたRPOCの２例
山 口 諒 大
（自衛隊札幌病院診療科）

[東北地方会]
第69回東北地方会学術集会発表【基礎】
嚥下関連筋の機能評価を目的とした筋膜運動追跡手法の開発
川上紗弥香

（東北大学大学院医工学研究科）

[関東甲信越地方会]
第37回関東甲信越地方会学術集会発表【基礎】
外部センサレスな肝腫瘍RFA治療効果判定のための深層学習を用いた新規レジストレーションシステム
笠 置　陸
（電気通信大学大学院情報理工学研究科）

[中部地方会]
第46回中部地方会学術集会発表【消化器】
母体抗SS-A 抗体陽性に伴う胎児完全房室ブロックの１例
小関詩津恵
（三重大学医学部附属病院産婦人科）

[関西地方会]
第52回関西地方会学術集会発表【基礎】
多発脳梗塞の原因としてVSD自然閉鎖後の膜性部中隔瘤内血栓が疑われた１例
前　憲 和
（堺市立総合医療センター）

[中国地方会]
第61回中国地方会学術集会発表【消化器】
肝血管肉腫の非典型的造影超音波所見を呈した一例
矢 野 園 子
（岡山市立市民病院消化器内科）

[四国地方会]
第35回四国地方会学術集会発表【循環器】
肝実質のcentral and peripheral zonal differentiationを観察しえた門脈本幹血栓を合併した膵癌の一例
近 藤　壮
（愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学）

[九州地方会]
第35回九州地方会学術集会発表【消化器】
気腫性胆嚢炎により門脈ガス血症を呈した２症例に学ぶ― 気づくことから始まった超音波診断の一歩
福 元 彩 乃
（霧島市立医師会医療センター診療部初期研修医室）

【顕彰委員会】
委 員 長　長谷川英之

副委員長　渡 邉　望

委　員
（基　礎）山 口　匡
（循 環 器）大 門 雅 夫　川 合 宏 哉
（消 化 器）北 野 雅 之　日 浅 陽 一
（腎･泌尿器）陣 崎 雅 弘
（産婦人科）菊 池 昭 彦
（小 児 科）市 橋　光
（運 動 器）後 藤 英 之
（脳 神 経）濱 口 浩 敏

オブザーバー
（基　礎）秋山いわき

以上13名